

令和4年度

武蔵野市第六期長期計画・調整計画
無作為抽出と公募による
市民ワークショップ

報 告 書

(令和4年8月6日開催)

令和4年10月

武蔵野市

目次

1	はじめに	---1
2	実施概要	---2
	(1) 募集方法	---2
	(2) 応募者内訳	---2
	(3) 参加者内訳	---2
	(4) 実施結果	---3
3	実施結果	---4
	(1) 無作為抽出と公募による市民ワークショップ（8月6日実施）	---4
	ア. 開催概要	
	イ. 各グループ意見結果	
4	参加者アンケート	---35
5	市民ファシリテーターについて	---46
	(1) 参画状況とその効果	---46
	(2) 運営スタッフアンケート結果	---46
6	添付資料	---50
	(1) 募集チラシ	---50
	(2) 当日配布物	---50
	ア. 自己紹介シート	
	イ. 武蔵野プレミアム詰め合わせセット	
	(3) 投影資料	---51
	ア. 武蔵野市資料	
	イ. 全体進行	
	(4) アンケート	---53
	ア. 参加者向け	
	イ. 運営者向け	

1 はじめに

市では、昭和46年に第一期基本構想・長期計画を策定して以来、現在まで、定期的に計画の調整、策定を行い、これらに基づいて計画的な市政運営を推進してきました。

長期計画は、市の目指すべき未来の姿を示し、それを実現するための政策を決める大切な計画です。計画期間は10年間ですが、20～30年先を見通した長期的な視野に立ち、策定しています。

今回、令和2年4月の第六期長期計画開始以降に生じたさまざまな社会情勢の変化に対応し、計画の実効性を保つため、令和4年度から2か年かけて、令和6年度～10年度までの5年間を計画期間とする第六期長期計画・調整計画を策定します。

策定にあたっては、第一期基本構想・長期計画策定以来の本市の特徴である、市民参加・議員参加・職員参加を中心とした「武蔵野市方式」を継承するとともに、市民ワークショップや公募市民会議、中高生世代向けワークショップのほか、市民委員による策定委員会を設置し、圏域別意見交換会や関係団体、市議会議員との意見交換、パブリックコメントなど様々な手法を用いて意見聴取を行います。

5月には、普段市政に参加する機会があまりない市民の方から広く意見をいただくことを目的として、無作為抽出による市民ワークショップをオンラインで開催しました。

今回、オンラインではなく対面での参加を希望される方を対象に、新たに公募による参加者も加えて、対面型の市民ワークショップを実施しました。

対象は、令和4年3月15日時点で市内に住民登録のある18歳以上の方、1,500名を無作為で抽出し、対面実施版での参加を希望された方と、公募により申込をいただいた方としました。

当日は、17名の方にご参加いただき、5月にオンラインで実施した市民ワークショップと同様に「誰もが安心して暮らし続けられる魅力と活力があふれるまちを実現するために、私たちができること」について議論いただきました。

また、第六期長期計画に引き続き、ワークショップ全体の進行及び各グループでの対話の進行を「市民ファシリテーター*1」にご協力いただき、参加者である市民の目線に立ち、各グループでの進行を担っていただきました。

この報告書は、第六期長期計画・調整計画策定委員会に送付され、今後の計画策定における参考資料とします。

*1市民ファシリテーターは、市の事業「コミュニティ未来塾むさしの」やオンラインワークショップ講座の修了生の方にご協力いただいています。

令和4年9月
武蔵野市

2 実施概要

(1) 募集方法

市内に住民登録のある18歳以上の方から1,500名を無作為に抽出し、市民ワークショップの参加案内を送付しました。参加案内では、5月に実施するオンラインワークショップのほか、オンラインではなく対面での参加を希望される方向けに8月に実施する対面式ワークショップについてお知らせし、参加者を募りました。

送付後は、4月15日号市報やSNSを活用し「市民ワークショップ開催」について周知するとともに、4月26日には抽出者に対して勧奨通知を送付しました。

また、公募については、6月15日号市報に掲載するとともに、SNSやFMむさしの等を活用し、募集しました。

※本ワークショップは、5月に実施したオンラインワークショップの対面実施版であり、内容は同一のものとなります。

(2) 応募者内訳

区分	人数	割合
男性	14名	58.3%
女性	10名	41.7%
合計	24名	100.0%

※無作為抽出での申込者：10名

公募での申込者：14名

区分	人数	割合
10代	0名	0%
20代	0名	0%
30代	3名	12.5%
40代	3名	12.5%
50代	8名	33.4%
60代	5名	20.8%
70歳以上	5名	20.8%
全体	24名	100.0%

(3) 参加者内訳

区分	人数	割合
男性	11名	64.7%
女性	6名	35.3%
合計	17名	100.0%

区分	人数	割合
10代	0名	0%
20代	0名	0%
30代	2名	11.8%
40代	3名	17.6%
50代	6名	35.4%
60代	3名	17.6%
70歳以上	3名	17.6%
全体	17名	100.0%

(4) 実施結果

日 程：令和4年8月6日（土）午後1時から5時

場 所：武蔵野スイングホールレインボーサロン

参加人数：男性11名、女性6名、計17名（5グループ）

市民ファシリテーター6名

<参考>※5月に実施したオンラインワークショップ（同内容）の実施結果は以下のとおり

A 日 程：令和4年5月22日（日）午後1時から5時

形 式：オンライン（Zoom）

参加人数：男性19名、女性7名、計26名（6グループ）

市民ファシリテーター9名

B 日 程：令和4年5月29日（日）午後1時から5時

形 式：オンライン（Zoom）

参加人数：男性16名、女性10名、計26名（6グループ）

市民ファシリテーター9名

3 実施結果

(1) 無作為抽出と公募による市民ワークショップ

ア. 開催概要

開催日時	令和4年8月6日(土) 13時~17時
会場	武蔵野スイングホールレインボーサロン
参加者	事前エントリー 24名 当日参加者 17名(欠席7名)
運営	市民ファシリテーター6名(全体司会1名、グループファシリテーター5名) 市職員6名、支援事業者2名
内容	<p>(ア) はじめに</p> <p>メインファシリテーターの自己紹介を行った後、ワークショップの概要や参加にあたってのお願い、これからの進め方を説明しました。</p>  <p>全体司会説明</p> <p>説明を始める前には「会場にどうやって来たか?」と参加者の交通手段について質問し、「徒歩、自転車、バス、電車」の4つの選択肢から手を挙げてもらい、アイスブレイクを行いました。</p>  <p>アイスブレイクの様子</p>

(イ) 第六期長期計画・調整計画について

市職員から計画策定の流れとワークショップの目的・趣旨について説明しました。



市職員説明



参加者の様子

(ウ) グループワーク 概要説明

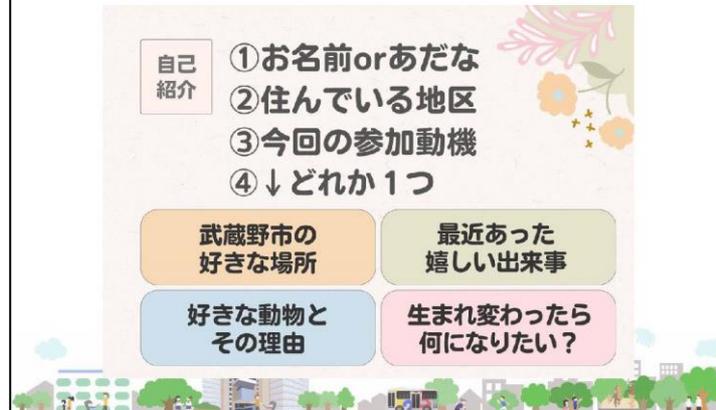
(エ) グループワーク

Step 1 : 自己紹介

1 グループ参加者 3～4名、市民ファシリテーター 1名のグループに分かれ、同じグループになった方との交流を図りました。その後、市民ファシリテーターより、本日の流れについて参加者へ説明しました。

グループワークで話すこと

自己紹介からスタートします。以下について全員にお話しいただきます。



Step 2 : テーマに沿って意見を出し合う

テーマ1 : この2年間の生活でどんな変化がありましたか？

意見を付箋へ記入し、出た意見を「良い変化」「どちらでもない変化」「悪い変化」にそれぞれ分類しました。

今回のワークショップでは、令和2年4月の第六期長期計画開始以降に生じたさまざまな社会情勢の変化の下で、市民の皆さんが感じた「変化」を話してもらうことから始めました。街の変化、ご自身の変化、職場での変化、家族の変化が挙がりました。



意見出しの様子



意見出しの様子

テーマ1をグループで話し合った後、2グループにどんな「変化」が出たのか発表してもらいました。発表は参加者が行いました。



発表の様子①



発表の様子②

テーマ2：悪い変化を良いものにするには？

テーマ3：良い変化をより良いものにするには？

テーマ2、テーマ3では「悪い変化」「良い変化」として分類した意見を市民自治の考えに基づき、参加している市民に「良いものにするにはどうしたらよいか」を考えて頂きました。

(オ) 全体共有

グループワーク実施後は、各グループで出た意見を全体で共有し合いました。



A グループ全体発表の様子



B グループ全体発表の様子



Cグループ全体発表の様子



Dグループ全体発表の様子



Eグループ全体発表の様子

(カ) 本日の振り返り

グループに分かれ当日のワークショップに参加して得た気づきや感想を互いに共有しました。

(キ) 市職員より連絡

今回のワークショップへの参加の活用方法や今後のスケジュールについて説明しました。



市職員による全体の振り返り



市職員による説明の様子

イ. 各グループ意見結果

2022年8月6日（土）Aグループ		
<p><参加動機></p> <ul style="list-style-type: none"> ・たまたま無作為で選ばれたので参加した ・武蔵野市に越して5年目で、初めて無作為で選ばれたのと、地元の食べ物を食べられるとのことで参加した ・通知がきたので参加した ・6月に会社を定年退職し、増えた自分の時間で、地域活動や地域に貢献したいと思い、その手始めとして参加した <p><自己紹介></p> <ul style="list-style-type: none"> ・【武蔵野市の好きな場所】近くのレストラン 数十年通ったレストランがコロナ禍で廃業し、最近家の近所で見つけた ・【武蔵野市の好きな場所】近所の和風居酒屋 カウンターだけで、車いすが入るので気に入っている ・【最近あった嬉しい出来事】 最近介護職員初任者研修をパスして、とりあえずよかったなと思っている 		
	変化	良くするためには
良い変化	<p>▶新型コロナウイルスによる変化</p> <p>在宅時間の増加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業の福利厚生マッサージや鍼灸の仕事で社員が在宅勤務になると働くことができずに自宅待機になるが、給料を満額もらうことができた。昇給賞与も出た ・お気に入りのお店は閉店したが、新たにお気に入りの店を開拓した ・自由時間が増え、資格を取得した <p>健康</p> <ul style="list-style-type: none"> ・早起きになった 	<p>在宅時間の増加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在宅勤務や柔軟な働き方を進め、会社が認めていく ・自由時間を資格取得などに使う ・人脈を広げる ・生きがいにしていく <p>健康</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体力づくりを行う ・散歩 ・早寝早起きを目指す

	<p>生活リズム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 習い事が休みなり、節約できた <p>交通</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 帰省、旅行にかかる交通費が安くなった 	<p>生活リズム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自宅での練習を取り入れる <p>交通</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Goto キャンペーンなどタイミングを見て使う
<p>ど ち ら で も な い</p>	<p>▶新型コロナウイルスによる変化</p> <p>オンラインの導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ テレワークや、オンラインイベントなどは電波が悪いので参加できない ・ テレワークの導入 <p>コミュニケーション・繋がり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 宴会が減った ・ 会食が減った <p>▶新型コロナウイルス以外の変化</p> <p>ライフステージの変化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 定年退職 	<p>▶新型コロナウイルスによる変化</p> <p>オンラインの導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ オンラインが必要にならなくなるまで時を待つ <p>コミュニケーション・繋がり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 浮いたお金を貯金に回す ・ 感染拡大が落ち着くまで、待つ ・ 時期が来たら豪遊する <p>ライフステージの変化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生涯現役で働く ・ シニアの労働力を活用
<p>悪 い 変 化</p>	<p>▶新型コロナウイルスによる変化</p> <p>オンラインの導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ テレワークになった <p>コミュニケーション・繋がり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人付き合いが難しくなった ・ 一人暮らしが厳しくなった <p>健康</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 体重が 10kg 増えた 	<p>コミュニケーション・繋がり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一人ならではの楽しみ方を見つける ・ オンラインの活用方法を広めていく <p>健康</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ カロリー計算をして、動いた分（散歩など）より少なめに食べる ・ 食生活改善、生活習慣の改善

	<p>感染対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役所が混雑し、新型コロナウイルスに感染するかもしれないという不安 ・コロナで帰省できない ・旅行に行けない ・現場に行かないと雰囲気味わえないイベントが自粛・延期 <p>経済活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お気に入りのお店が閉店した ・外国人相手の仕事をしていて、訪日外国人が少なくなり仕事が止まってしまった <p>教育・子育て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校閉鎖になり、生活の仕方に大きな変化があった 	<p>感染対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役所の窓口対応に予約制度を導入 ・オンラインイベントへの企画変更 ・地元の名産品を送ってもらう ・オンラインツアーを見る <p>経済活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・別のお店を積極的に探す ・居抜きであれば、市民活動で使わせてもらう ・自分が買い取って引き継ぐ ・自分でお店を出してしまう ・空いた時間を有効活用する <p>教育・子育て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オンラインとリアルのハイブリット生活に慣れる ・家族との時間が増えることで家族の大切さを再認識してもらう
<p>本日の感想</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ほかのグループが立派に見えた ・市への意見が出てきてとても意義深かった ・レモンキャブなど自分自身には今は必要性がないことを知ることができ学びになった ・ほかのチームが要望していることを、すでに市で行っている可能性もあるのに、伝わっていないとしたら、広報の仕方は考える必要がある 	

2022年8月6日（土）Bグループ

<参加動機>

- ・仕事以外のコミュニケーションの場が欲しい、情報交換したい
- ・お土産がもらえることと、対面で参加できるから
- ・軽い気持ちで。どんな話をするのか知りたくて参加

<自己紹介>

- ・【武蔵野市の好きな場所】桜堤団地（玉川上水に向かったの桜並木）
桜の時期に行くととてもきれい
- ・【最近あった嬉しい出来事】懸賞が趣味
最近テレビの懸賞で5,000円を当てた
- ・【最近あった嬉しい出来事】
孫が希望通りの大学に入学できたこと

	変化	良くするためには
良 い 変 化	<p>▶新型コロナウイルスによる変化</p> <p>オンラインの導入</p> <ul style="list-style-type: none">・ラッシュアワーの削減・転勤がなくなった <p>在宅時間の増加</p> <ul style="list-style-type: none">・在宅勤務となり、子どもと話したり、過ごす時間が増加した・料理スキルが上がり、子どもの好物を作れるようになった・ゲームとTVを見る時間が増えた・買い物する機会の増加 <p>感染対策</p> <ul style="list-style-type: none">・インフルエンザや風邪を引かなくなった・手指消毒など公衆衛生の向上・公衆衛生の向上により鳥取の病院でインフルエンザで搬送される患者がゼロになった。また、手足口病が1/100に減った	<p>オンラインの導入</p> <ul style="list-style-type: none">・職種に応じて在宅ワークの推進・WEB商談・販売の活用

	<p>健康</p> <ul style="list-style-type: none"> ・散歩をするようになり健康になった ・散歩をすることで地面に咲いている花に目が留まるようになった <p>経済活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・非接触のサービスの増加 ・キャッシュレス決済の普及 	<p>健康</p> <ul style="list-style-type: none"> ・神社巡り（七福神めぐり）などのルートを紹介する ・スマホスキルが上がれば、その様子をインスタに投稿し、拡散する
<p>どちらでもない</p>	<p>▶新型コロナウイルスによる変化</p> <p>経済活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人気店は新型コロナウイルスに関わらずいつも混んでいる。テイクアウトをしたくても、できない時がある 	
<p>悪い変化</p>	<p>▶新型コロナウイルスによる変化</p> <p>オンラインの導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テレワークの普及により都会に住む必要がなくなり、賃貸物件の契約終了が多くなった <p>コミュニケーション・繋がり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飲みに行く機会が減少した ・友人家族を家に呼べない ・会食機会が減り、コミュニケーションをとる機会も減った ・友人との旅行に行けなくなった ・地方に住む親類から来ないでくれと言われた ・葬式・法事などができない ・兄弟、子ども同士の訪問ができない 	<p>オンラインの導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援金の検討 <p>コミュニケーション・繋がり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人と会うときにルールを決めればもう少し会いやすくなる。国が統一的なルールを作成する ・相談窓口の設置（9時～17時以外）

	<ul style="list-style-type: none"> ・アクリル板越しの会話が聞き取りにくい ・人の目が気になる。余計な気を遣いすぎて息苦しい <p>在宅時間の増加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夫婦喧嘩が増えた <p>経済活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老舗のお店の閉店 ・チケットレス化でかえって不便 	<p>経済活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人商店はなるべく足を運んで買う ・テイクアウトを利用し、支援する ・スマートフォンを使えるようになりたい。でも、教室の予約が取れない。市での高齢者へのフォロー体制の拡充 ・教室などの予約方法を改善し、予約を取りやすくする
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・良い変化をこれ以上良い変化にさせるよりかは、良いものは新型コロナウイルス収束後も残ると思う ・良い変化にするためには、個人の心の持ちようになる部分が多い 	
本日の感想	<ul style="list-style-type: none"> ・同じ意見を持つ人がいて安心した ・コミュニケーションが減ってストレスだった。人との関わりを持つことが大切だと実感した。アナログの繋がりが復活するといい ・年齢がいつているので、ついていけるか不安だったが、いろいろな意見が聞けて安心した。また意見が言える機会があれば参加したい ・武蔵野市は市民の意見を聞く機会が多い。オンラインではなく、対面を選んだメンバーだから意思疎通がスムーズだった 	

2022年8月6日（土）Cグループ

<参加動機>

- ・20年も武蔵野市に住んでいるので、何らかの形で触れ合いたいと思った。また、武蔵野市以外にも居住しており、いい意味で2つの市を日常生活の中で比較できており、そこで感じたことを武蔵野市に反映できる意見が言えるシチュエーションがあれば良いと思い応募した
- ・武蔵野市が今後どのような街にしていこうと考えているのが、全然わからない。自分が住んでいる街がどのようなことをしているのかを知ってみたいと思い、参加した
- ・最近、武蔵野市に引っ越してきたばかり。街のことが本当に分からず、誰かに聞きたいなと思っていた。たまたまチラシを拝見し、武蔵野市の色々なことを教えていただける機会になるのではないかと思いますと思い応募した
- ・膝が悪くて歩けない不便さがあり、そのような不便さを武蔵野市で整備できているといいなと思い参加した

<自己紹介>

- ・【武蔵野市の好きな場所】
嫌いな場所がない所が武蔵野市のいい所
- ・【武蔵野市の好きな場所】 中央図書館
毎週利用している
- ・【武蔵野市の好きな場所】 武蔵野プレイス
何度か足を運んでおり安心・安全が保たれていてよい場所だと感じている
- ・【武蔵野市の好きな場所】 緑町と北町の境の桜並木や玉川上水
今後、色々な所を歩いて自分の好きな所を見つけていきたい

	変化	良くするためには
良い変化	<p>▶新型コロナウイルスによる変化</p> <p>オンラインの導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通勤時間が少なくなった ・読書の時間がとれるようになった ・三鷹のジムに通えるようになった 	<p>オンラインの導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館の設備充実 ・図書館の案内 ・体育設備のメニュー充実 ・市の体育館では高齢者向けのメニューが多く参加できないため、勤労者向けの体育メニューや開催時間の工夫
	<p>経済活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オーケーストアが開店し、買い物が便 	<p>経済活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宅配スーパーやテイクアウト等の案内

	<p>利になった。また、地元にお金が落とせるようになった</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中町や西久保の飲食店で積極的なテイクアウトの実施 ・補助券制度を活用し、実店舗に飲食するきっかけができた <p>▶新型コロナウイルス以外の変化</p> <p>安全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災対策（トイレ、避難場所）はしっかりされている ・マンションが増え、水害に対する安心感がある <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マンションが増え、若い人が増えたように感じる 	<p>促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・武蔵野市テイクアウト食まつり開催 ・市内の店舗案内の充実 ・武蔵野市には全国的に有名な外食チェーンが多いため、そのような飲食店企業の地域貢献への誘導 <p>安全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・垂直避難マップ作成 <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生の部活動へ民間企業を積極的に利用していく ・公共施設やサービスの更新と充実（はこもの施設、イベント等のソフト運営） ・転入者向け案内・サービスの充実
<p>どちらでもない</p>	<p>▶新型コロナウイルスによる変化</p> <p>在宅時間の増加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在宅ワークが増え、武蔵野市にいる時間が長くなった <p>コミュニケーション・繋がり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近所付き合いが減った <p>▶新型コロナウイルス以外の変化</p> <p>ライフステージの変化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2人の子どもの独立 	

悪い変化	<p>▶新型コロナウイルスによる変化</p> <p>コミュニケーション・繋がり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マスクをした顔しか知らない人が増えた ・近所の人に話しかけづらくなった ・人に会った後に疲れを感じるようになった ・人に「会いたい」と言いづらくなった 	<p>コミュニケーション・繋がり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近隣の人が集まれる機会作り ・テーマ別イベントの復活（防災、防犯、地域お祭り等） ・転入時コミュニティセンターとLINEの案内強化 ・2類→5類（国の公衆衛生基準） ・日本社会仕方ない（無言圧力） ・高齢者は地元の歴史を若い人に伝え、若い人からオンラインツールを教えてもらうことで、世代間ギャップを埋める ・公共掲示板の活用
	<p>健康</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在宅ワークにより食事時間が不規則になった 	<p>健康</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の生活と健康に関する情報を市報を活用して積極的に広報する
	<p>場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園の閉鎖 	<p>場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスに対応した施設やお店の案内 ・公共設備の計画的な整備の推進 ・ランニング、サイクリングロードの整備と情報発信
	<p>経済活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実店舗での買い物が減った ・外出の機会が減少した <p>▶新型コロナウイルス以外の変化</p> <p>場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティセンターの利用者のグループ化や本来、市民の自主的な意見をまとめ上げる機能があるはずだ 	<p>場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共投資の順番づけ ・高齢者へのLINEやアプリ教育 ・高齢者や障害者への配慮

	<p>が、市が強制できていない等の運営上の課題がある</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下りのエスカレーターが少ない ・私立学校の老朽化が激しい ・公園のトイレが少ない ・体育館のトイレが古く、和式であるため高齢者には利用しにく ・道路の凹凸が気になる <p>景観</p> <ul style="list-style-type: none"> ・吉祥寺駅南口のバスロータリーは懸案事項なのか、街並みが変わらない <p>安全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災対策のトイレや避難場所の設備に草が生い茂り管理できていない ・防災訓練がない <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会がない 	<ul style="list-style-type: none"> ・武蔵野市の LINE やアプリ開発し、様々な情報が入ってくるようにする ・公園や公共施設メンテナンス ・プッシュ通知でお知らせ ・高齢者向けスマホレッスン ・市政の見える化 ・コミュニティセンター同士の話し合いを行う ・地図のメンテナンスに簡易トイレなどを追記する
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・マスコミの報道の仕方 ・最新の情報なのか把握できるように市の制作物に発行日・版数等を必ず入れる ・一般のタクシー会社を利用して障がい者、高齢者向けのタクシー券を配布 	
<p>本日の感想</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・初めての参加だったが、自分が知らない所で市の催し物があることを知った。今後、時間がある限り積極的に参加したいと思った。住んでいる武蔵野市により良いサービスや、よい街となって皆が集うようになればよいと思う ・気づきが多く、勉強になった。今日の提言が1つでも実現するとよいなと思った ・開始時は、2年間の変化を聞かれ転居したばかりで心細くなったが、皆様のおかげで楽しく学びを深めることができた。今回参加してよかった ・人生の終末期に、今回参加して生まれ育った武蔵野市がまた良くなるという雰囲気を感じた。暮らしたい街であれば、それだけ皆生きていける。生かされたくはない、自分で一杯生きていく中で終末期を過ごしていきたいと思った 	

Cグループの議論の様子と模造紙



2022年8月6日（土）Dグループ

<参加動機>

- ・子どもがいて、これからも武蔵野市に居住していくと思うので子どものためにもよりよい市にしていきたいなと思い参加した
- ・子どもが3歳、コロナウイルスの影響もあって地元に関わっていききたいなとぼんやり思っている中で、参加した
- ・これを機に市のことを考えてみようと思い参加をした
- ・退職後、地域で生活していると強く感じた。他の班のファシリテーターの方から紹介を受け、今回参加をした

<自己紹介>

- ・【最近あった嬉しい出来事】
子どもが通う学校が3年後に建て替えのため、その改築懇談会委員という公募に立候補し委員ができることとなった。その活動も楽しみ
- ・【武蔵野市の好きな場所】
散歩道になっているのは、玉川上水
- ・【武蔵野市の好きな場所】
毎日通期などで行っている場所は、玉川上水
- ・【最近あった嬉しい出来事】
娘が最近結婚し、妊娠が分かり嬉しかった

	変化	良くするためには
良 い 変 化	<p>▶新型コロナウイルスによる変化</p> <p>オンラインの導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・休日出勤が減ったことで家事、育児の時間が増加した ・夫婦共にフルリモートになったことで、家族の時間を設けることができている <p>在宅時間の増加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住環境の良さへの新たな気づき ・地元のお店の利用が増えた ・近所の方と声を交わすことが増えた ・リモートワークの導入や、地元にいる時間が増えたことで若い親子が増加 	<p>▶新型コロナウイルスによる変化</p> <p>オンラインの導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校卒業まで時短勤務の推進 ・多様な働き方を会社で認める <p>在宅時間の増加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域店舗のPR ・地元産野菜を増やし、地域をPR ・周りの人が市民意識を高められるよう、イベントの紹介や啓蒙を進めたい ・ワークショップや意見を発言できる手

<ul style="list-style-type: none"> ・地域に根差して生活しており市民意識の高まりが強くなった <p>教育・子育て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校行事が少しできるようになった ・生徒が主体となって学校運営ができるようになってきた ・スクールソーシャルワーカーが中学校区に1名配置 ・不登校支援の場クレスコーレと武蔵野市が提携し、不登校の子供の居場所が増えた <p>景観</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路の舗装が良くなった <p>場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園や武蔵野プレイス、0123 はらっぱの利用増加 <p>ライフステージ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが保育園へ入園できたことで、 	<p>立てを充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども手当の所得制限の撤廃 ・武蔵野市の子育て状況を市外へアピールし人口増加を促す ・何かのついでに参加できる機会を増加させ、様々なよい効果をもたらす（例：商業施設に行ったら植林が1本できるなど） ・家賃を下げる施策や若い世帯向けの家賃補助 <p>教育・子育て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども会議の予算を付ける ・地域に開かれた学校づくり ・地域と連携した学校づくり、多世代交流 ・まちぐるみでの子育て ・クレスコーレの数を増やす ・図書館サポーターの正規雇用促進や意見等が学校で反映されるようにする ・専門職の正規雇用の促進 ・学費の値下げ ・給食費無料 <p>景観</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続した道路整備 <p>場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園など公共施設の充実化、利用したいと思えるよう整備を進める ・児童館や中高生向けの居場所を増やす ・各駅にプレイスを設置 <p>ライフステージ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・希望した時期に希望した園に入園でき
---	--

	<p>仕事復帰ができた</p> <p>▶新型コロナウイルス以外の変化</p> <p>教育・子育て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・60年間で原則学校の建て替えを行っている 	<p>ることを市には目指してほしい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育園によっては園庭がない施設もあるため、保育園全体の質を上げる ・学童の増加
<p>どちらでもない</p>	<p>▶新型コロナウイルスによる変化</p> <p>在宅時間の増加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在宅時間が長くなった <p>▶新型コロナウイルス以外による変化</p> <p>教育・子育て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの成長と共に、中学受験の話聞く機会が増え、公教育が心配 <p>ライフステージ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕事と育児の両立。今後の働き方やキャリアについて考える機会が増えた 	
<p>悪い変化</p>	<p>▶新型コロナウイルスによる変化</p> <p>コミュニケーション・繋がり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会食や飲み会の機会が減った <p>在宅時間の増加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宅配サービスの利用が増えた <p>健康</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加齢による身体の変化を感じた <p>教育・子育て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育参観や懇親会の機会が少ない 	<p>健康</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の中で運動施設や器具、医療面の充実

景観

- ・農地から宅地に転用され、緑が減少
- ・三鷹駅北口の再開発が進み、高層の建物が建つと風や緑を感じられなくなってしまっているのではないか
- ・道に捨てられているゴミが増えた

経済活動

- ・チェーン店が増加し、個店が減少した
- ・工事現場での案内の仕事に、高齢者が多く働いている
- ・経済や生活状況の影響のためか、UberEats で働く学生が増えた

安全

- ・近所の橋が老朽化で危険
- ・自転車の通行量が増えた
- ・歩きたばこをする人が増えた

景観

- ・税金の軽減、事業所アピールなどで民有地の緑を維持、インセンティブ化
- ・緑の保存をしたら援助金を出す
- ・蓋付のゴミ箱を街中へ設置
- ・販売店などゴミ削減へ向けた声掛け
- ・歩きたばこやポイ捨てへの刑罰化
- ・再開発に関する市民の声を聞くワークショップの実施と意見の反映

経済活動

- ・商店街の活性化
- ・店舗の賃料引き下げ
- ・地元のお店に行って応援と市から手数料を助成するなどして店舗側のキャッシュレスを促進させる仕組み
- ・生活へちょっとした資金的援助
- ・安さや速さを求めすぎない消費者マインドを市民が持つ

安全

- ・自転車レーンの整備
- ・自転車利用者の増加を前提とした政策立案
- ・自転車に注力した交通安全週間の実施
- ・自転車へ向けた警告標識を増やす
- ・駐輪場で快適な自転車と歩行者の在り方などのマナー啓蒙を行う
- ・電柱を地中化
- ・橋等の安全調査を行う
- ・市民の気づきを伝えられる窓口の設置とその周知
- ・たばこ販売店への声かけ

	<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペットボトルのゴミが増えた <p>▶新型コロナウイルス以外の変化</p> <p>安全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・異常気象 ・自然災害の増加 	<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ソーダストリームの利用やお茶パック、浄水器の購入でペットボトルの購入頻度を減らす ・ゴミ回収の頻度を増やす <p>安全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エリアで起きる災害の予測 ・CO₂を減らす目標の明確化 ・備蓄やリモートワークなど個人でできることを進める ・災害に備える街づくり
<p>本日の感想</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分自身もきちんと市について考え、向き合えた。また他の方の意見を聞くことで、そのようなこもあったのかと考えることもできた。参加してみて気づきが多く、よい時間が過ごせた。今後も市民意識を高めていきたい ・それぞれの方の意見が参考になった。自分自身も話すことで気づきや逆に気づかされた面もあり、非常に刺激になった。参加してよかった ・参加して面白かった。その方の職業や背景、住む場所が異なる人と意見交換することで、着眼点も異なり面白かった ・立場が違えば見えているものも違うと今回、よく分かり大変刺激になった。子育ての当事者というところで、我儘な意見も申し上げましたが、実際に実現していくかどうかは分からないが、このように市民の間で話し合えることが貴重な場だと感じた。今後も、市民意識を高めていきたい 	

Dグループの議論の様子と模造紙



<参加動機>

- ・武蔵野市に引っ越ししてきて3年ほど。市民と市長のふれあいトークや市民活動などに参加していくうちに、武蔵野市への愛着が高まったため、本日参加した
- ・市報で長期計画策定委員を知った。これまで市に関する活動をしたことがなく、関心もなかった。自分がやったことないことをやってみることで、自分に変化があるのではないかと思い応募した。仕事の中で、こだわりがあることだとどうしても意見を言いすぎてしまうことがあるため。市民会議などに参加して幅広い人たちと話し合い、他人の意見を聞くということは、自分の経験としても大事だと考え参加した
- ・武蔵野市のことを深く知りたい、また同年代の方と出会うきっかけになればと淡い期待をしていた。ただ、皆様の話を聞いていて年齢関係なしに話してみたいと思った

<自己紹介>

時間の都合上、上記話題について話していない

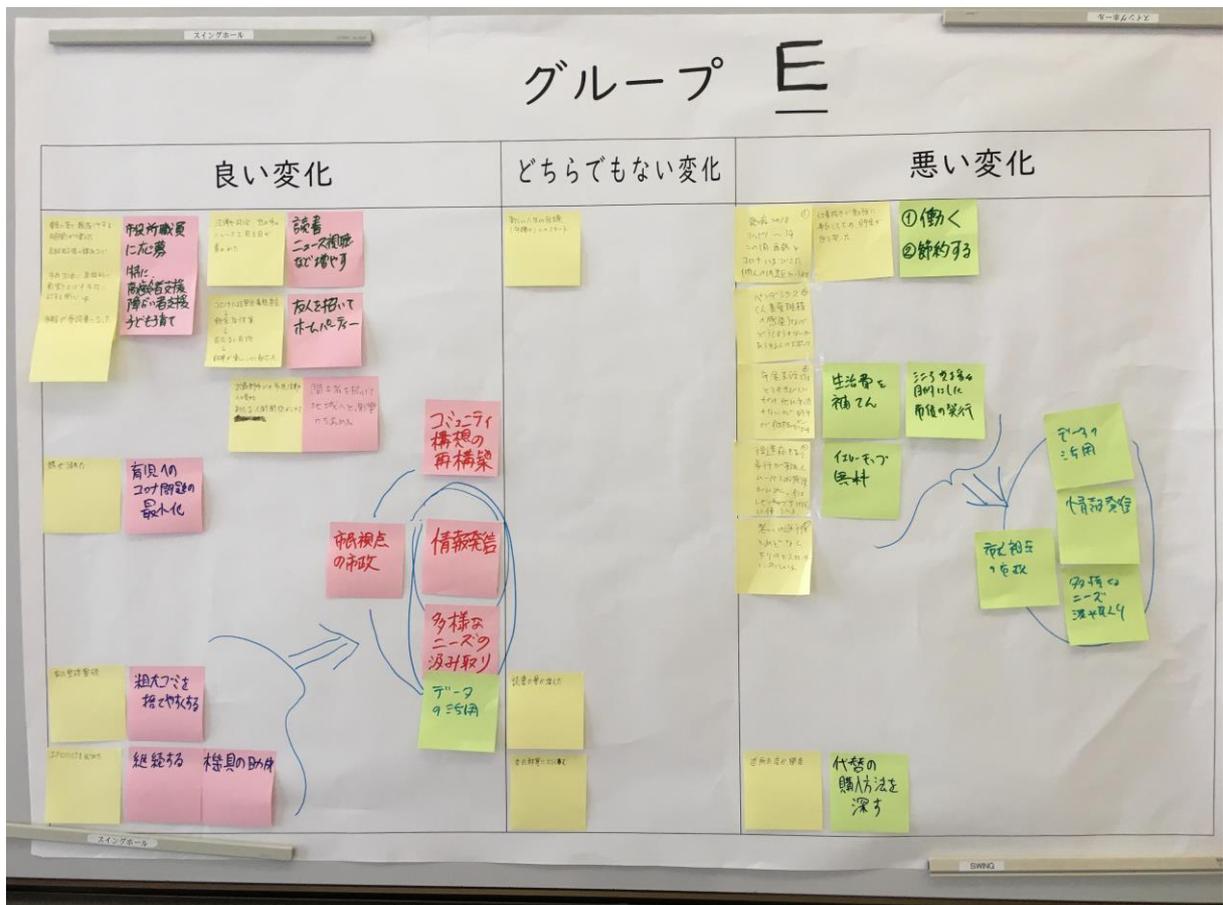
	変化	良くするためには
良 い 変 化	<p>▶新型コロナウイルスによる変化</p> <p>在宅時間の増加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急事態宣言により飲食店休業。否応なく自炊したことで料理が楽しいことに気づいた ・家の整理整頓をきっかけに家の諍いが減った 	<p>在宅時間の増加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分だけの料理でなく、誰かに食べてもらう料理をすることで、楽しさが倍増するのではないか。友人を招いてホームパーティーの企画 ・粗大ごみを捨てやすくする。また、方法が簡易的に分かるように情報発信する
	<p>健康</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エアロバイクを始め、身体に変化が出てきて嬉しかった 	<p>健康</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動の継続 ・運動器具の助成制度と情報発信
	<p>行政制度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市報は丁寧に情報が掲載されている ・市報が愛読書になった 	<p>行政制度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民に届くための情報発信の強化 ・市民のニーズを汲み取ることで質のよい仕組みを作る ・顕在化していないニーズは市民の行動データ等を集め活用 ・アンケートの実施

<p>▶新型コロナウイルス以外の変化</p> <p>繋がり・コミュニケーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・武蔵野市での市民活動への参加や、市政に関心を持ち傍聴に参加したことを機に新たな人間関係ができた <p>ライフステージの変化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・甥が生まれた ・東京へ転居したことを機に高齢者支援の講座に参加し、親孝行する時間が増えた <p>行政制度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民生活に直接影響を及ぼす地方自治体の政治に対して関心が増えた <p>安全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時の要支援者は、何かあった際に声をかけてくれる人がいるという安心感がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・困り事や、何かしたいことで市民が繋がるチャンネル作る ・ユーザエクスペリエンスやカスタマーサクセスのように、使い勝手や実際の市民への効果を意識した政策決定 ・コミュニティセンターを市民同士が繋がれる場として活用する。また、30代40代が馴染めるよう構想をアップデートする ・市のTwitterやWebサイトもデータを見て改善していく <p>繋がり・コミュニケーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関与者を広げて地域へ。影響力を高める <p>ライフステージの変化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスがもたらす育児への影響を考える（マスク着用時の言葉の発達の影響など） <p>行政制度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市政に関心が出てきているので市役所職員へ応募を継続する（特に高齢者支援、障がい者支援、子ども子育て）
--	---

	<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法律や政治、世の中のニュースを見る目が養われた 	<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読書やニュース視聴の機会を増やす
ど ち ら で も な い	<p>▶新型コロナウイルス以外の変化</p> <p>ライフステージの変化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たな人生目標へのスタート <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブログでの発信をきっかけに読書の量が増えた ・本の執筆に取り組む 	
悪 い 変 化	<p>▶新型コロナウイルスによる変化</p> <p>コミュニケーション・繋がり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外食頻度が減った <p>経済活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近所の個人店が閉店し、日常生活品を手軽に買えなくなった <p>交通</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歩行が難しく、ムーバスの本数減少で外出に支障が出た。今はレモンキャブを使っている <p>ライフスタイル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日々、脳梗塞の再発とコロナウイルスにかかってはいけないという二重のストレスがあった <p>▶新型コロナウイルス以外の変化</p> <p>ライフスタイル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年金が目減りして生活が厳しい ・老いの進行 	<p>経済活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・代替えの購入方法を探す <p>交通</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レモンキャブ無料化 <p>ライフスタイル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活費を補填する行政の仕組み作り

	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事抜きで勉強に専念していたため、貯金が底をついた 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者生活を支援するための市債の発行（大きな手術や、リハビリなど将来的にお金が必要になった際に備える） ・フレイル予防の努力を自らで続ける ・フルタイムで働く ・節約する ・農家の直営販売を利用する
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・人類規模の感染症が発生。高齢者がどんどん亡くなる。どうしようもないが解決が見えない ・コミュニティセンターの施設老朽化、運営スタッフの高齢化 ・コミュニティセンター利用者が高齢者に固定化されている 	
<p>本日の感想</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・初めて会った方とお話ができてよかった ・初めて会った方と話せたこともよかった。また、各グループの発表を聞く中で情報の発信について意見が出ている印象。自分達のグループでも、個別の意見が出た中で、やはり発信や市民のサービスに視点を当てることが大事という意見がでた。他グループも同様な意見が出たという点で、このような話し合いのプロセスを用意することで、何か共通の認識を作っていくことができると感じた。仕事において、このようなブレインストーミングを行わないので、このような手法は市民活動や会社でも有効であり、体験することができ良かった ・年齢も住んでいるところもバラバラで、このような機会がなければ出会うことができなかつたメンバーなので、面白かった。この場で結論を出す訳ではないが、面白い話ができた。他のグループの発表も参考になった 	

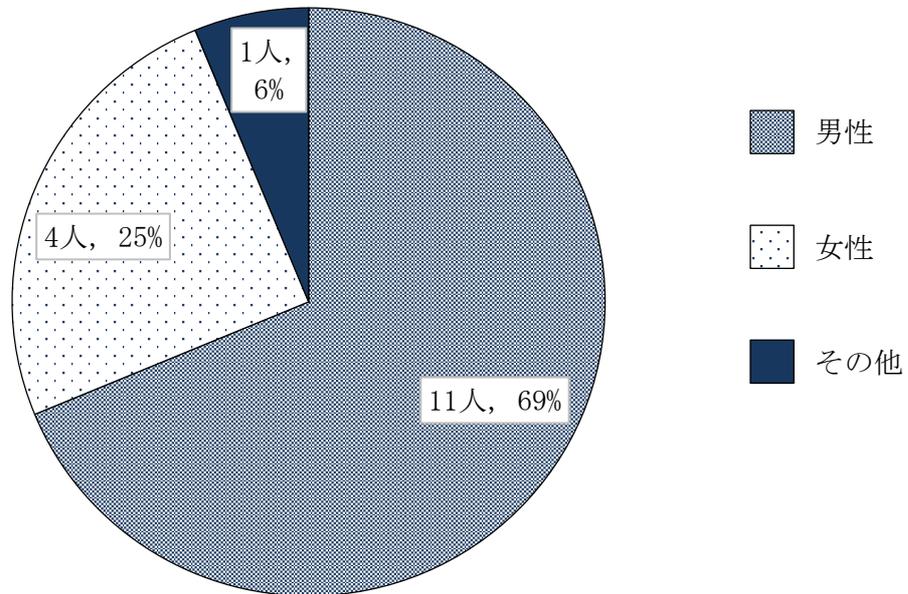
Eグループの議論の様子と模造紙



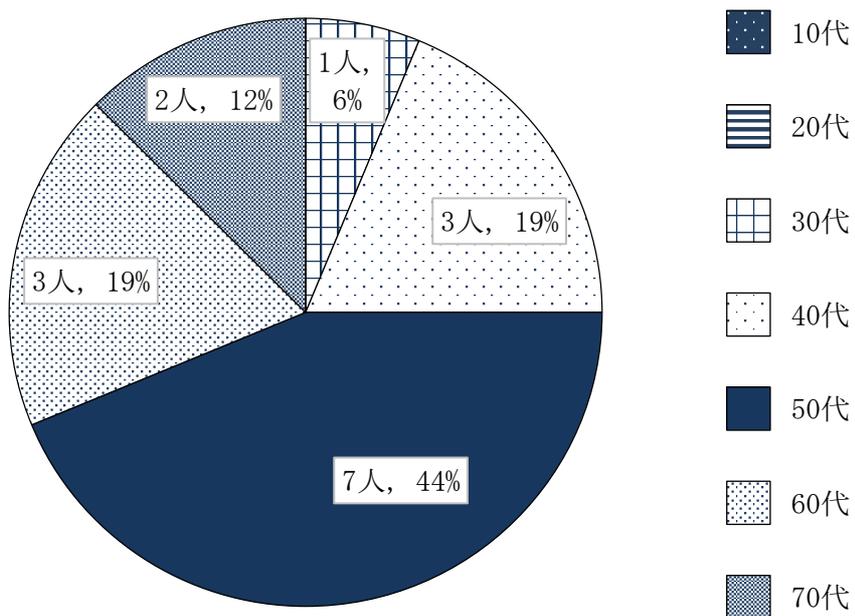
4 参加者アンケート

1. ご自身のことについて回答をお願いします

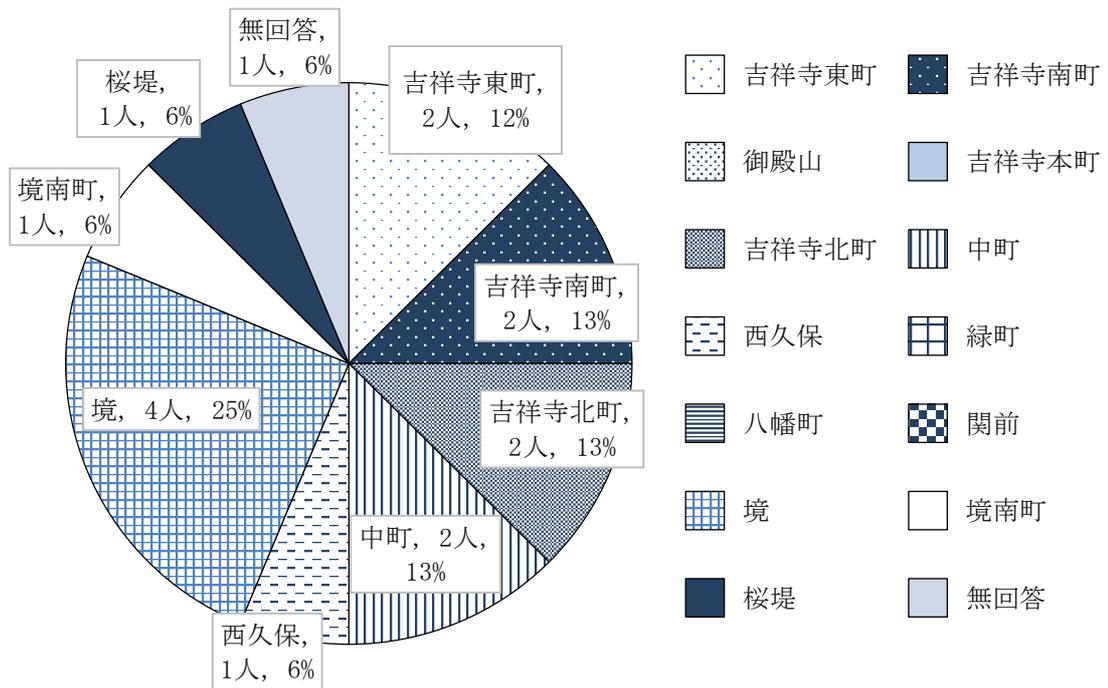
(1) 性別について該当するものを選んでください



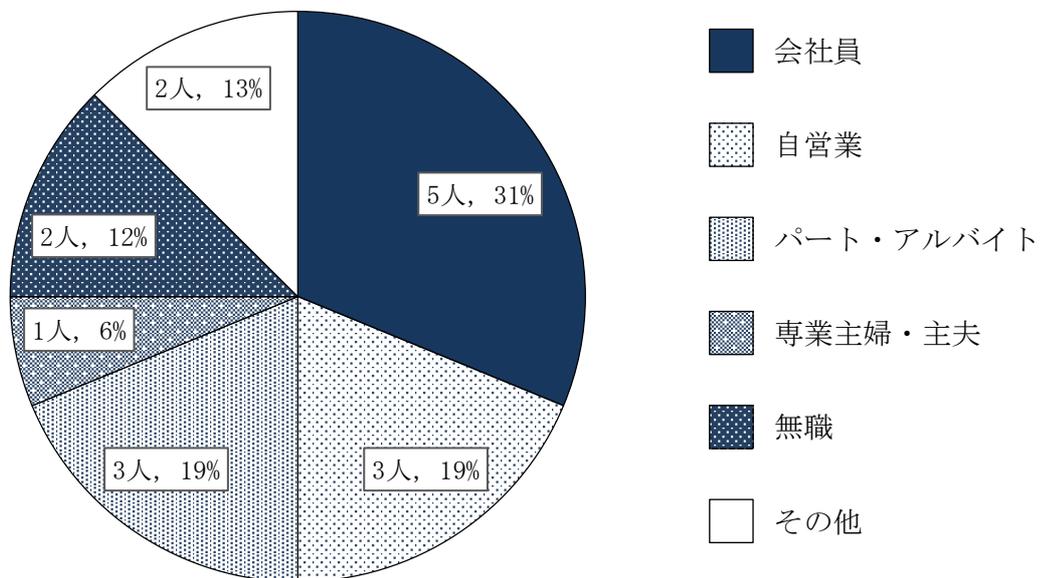
(2) 年齢について該当するものを選んでください



(3) ご住所について該当するものを選んでください



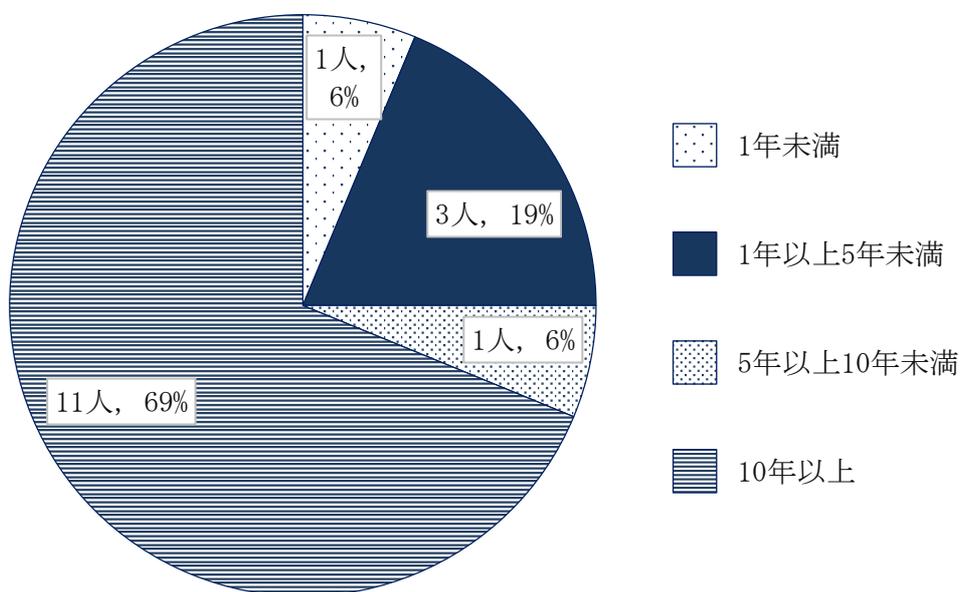
(4) ご職業について該当するものを選んでください



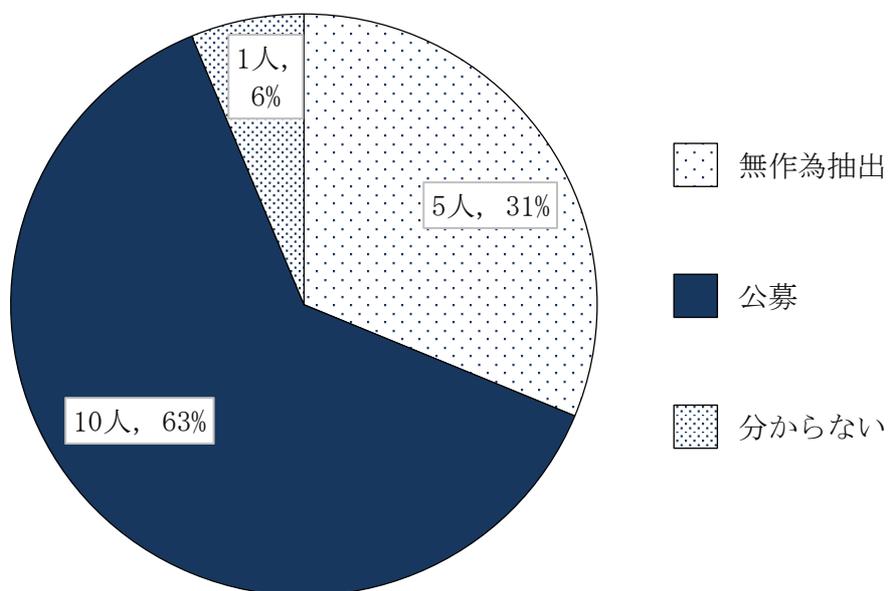
(4) その他ご意見

- ・自由業

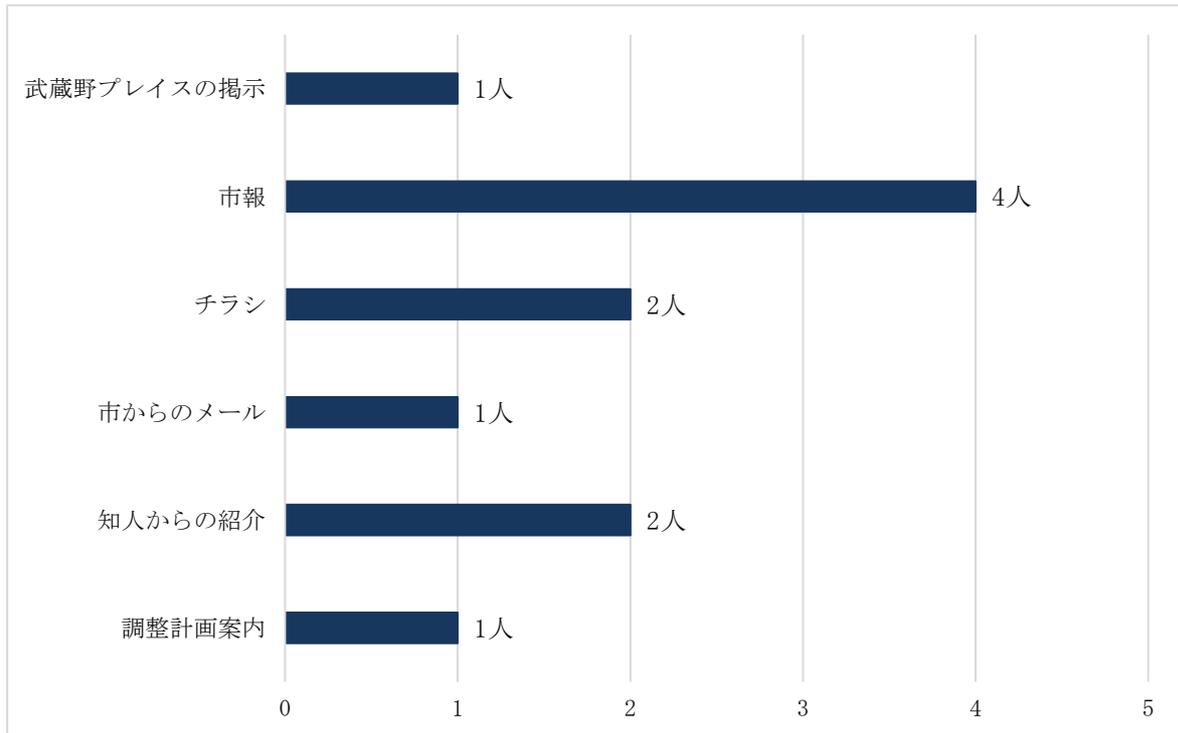
(5) 武蔵野市での居住年数について該当するものを選んでください



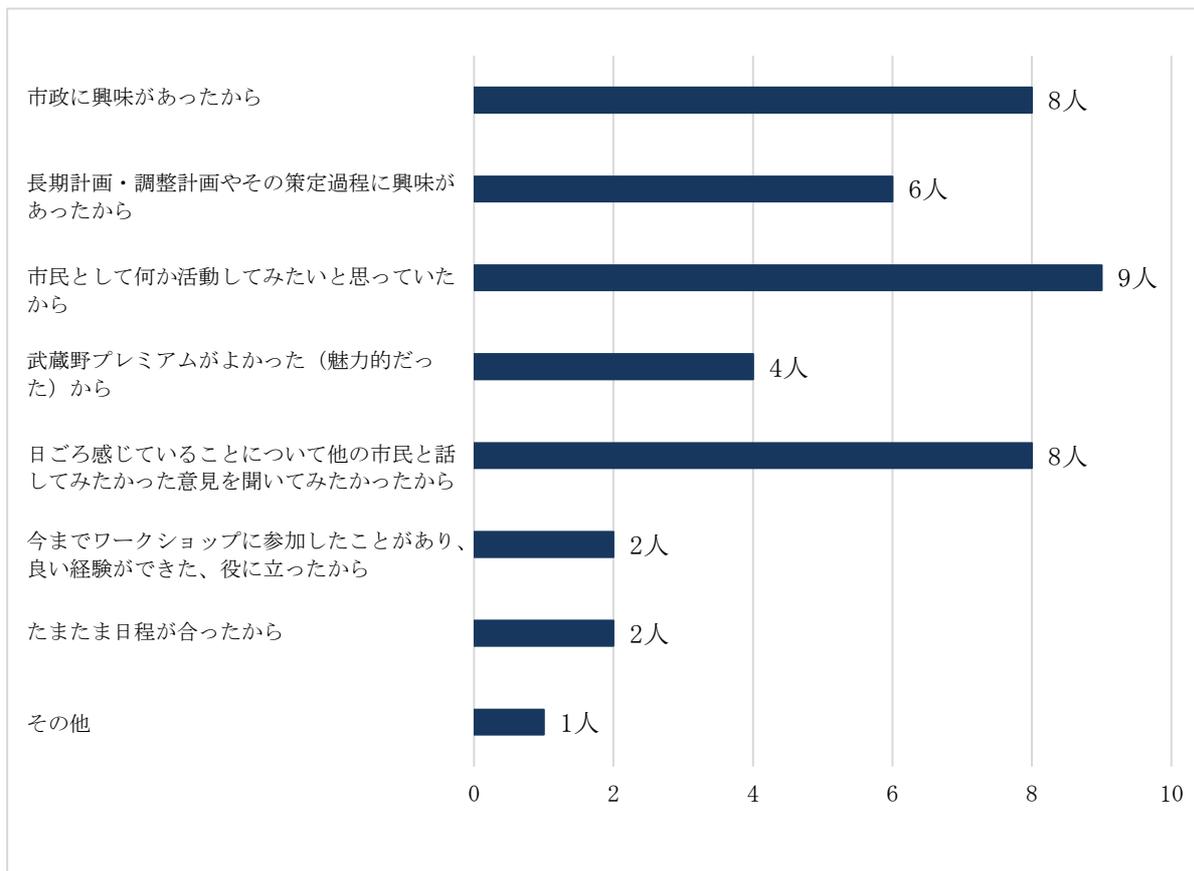
(6) 参加方法



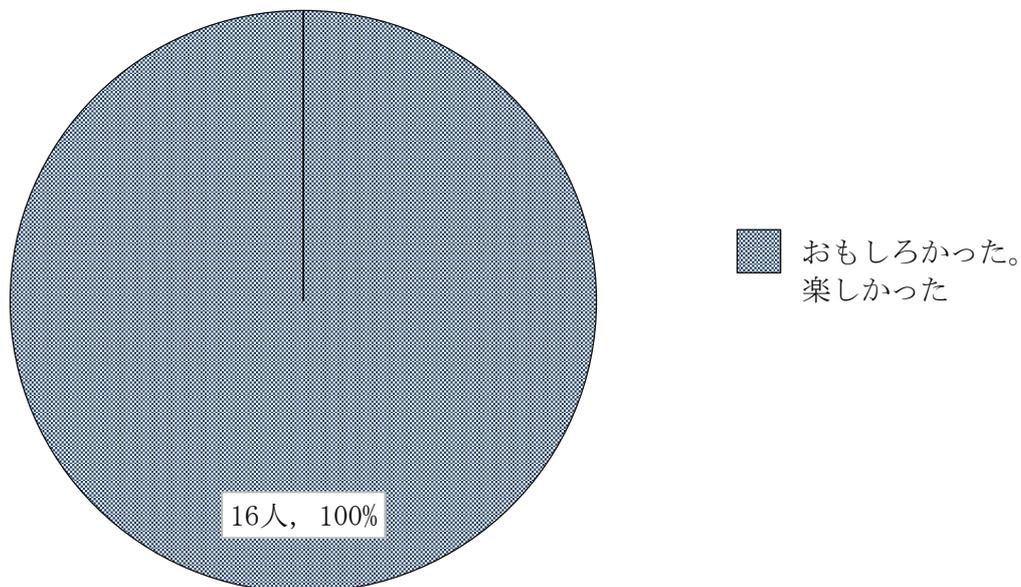
※（６）参加方法で「②公募」を選択された方は、何を見てこのワークショップをしりましたか（複数回答）



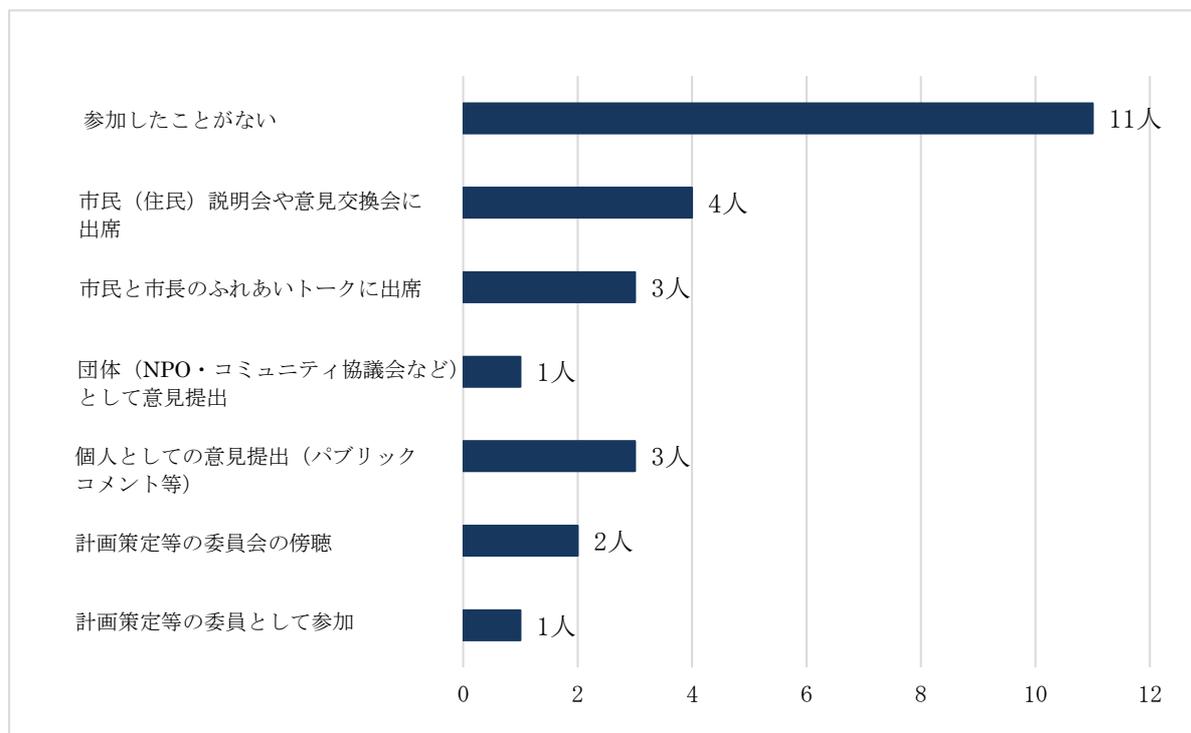
2. 今回、参加をお決めいただいた理由は何ですか？（複数回答）



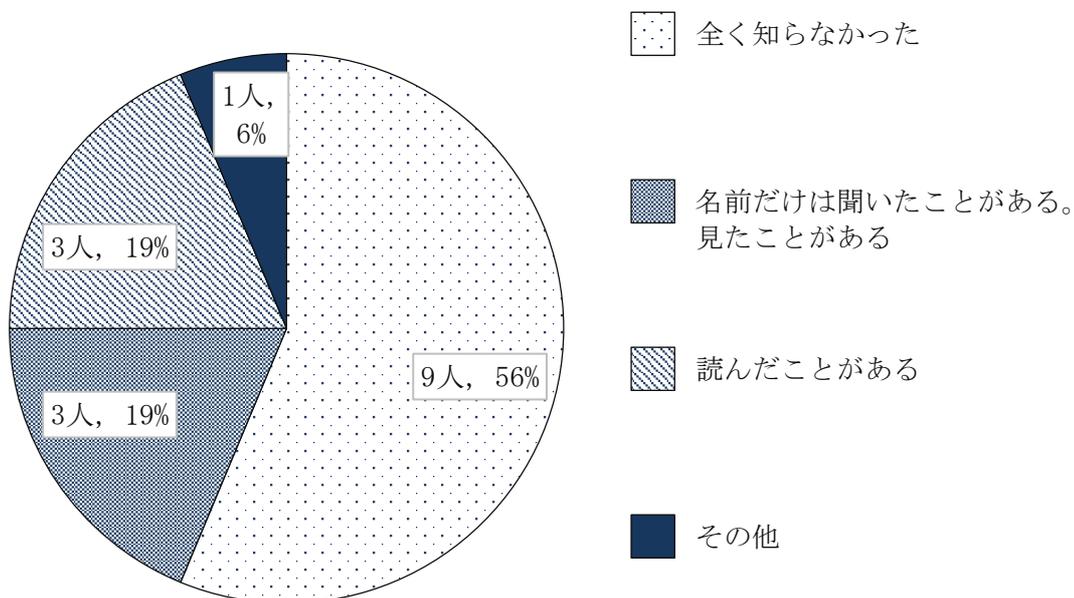
3. 参加されたご感想をお聞かせください



4. これまで市の計画策定や施策決定の場面に参加されたことはありますか？（複数回答）



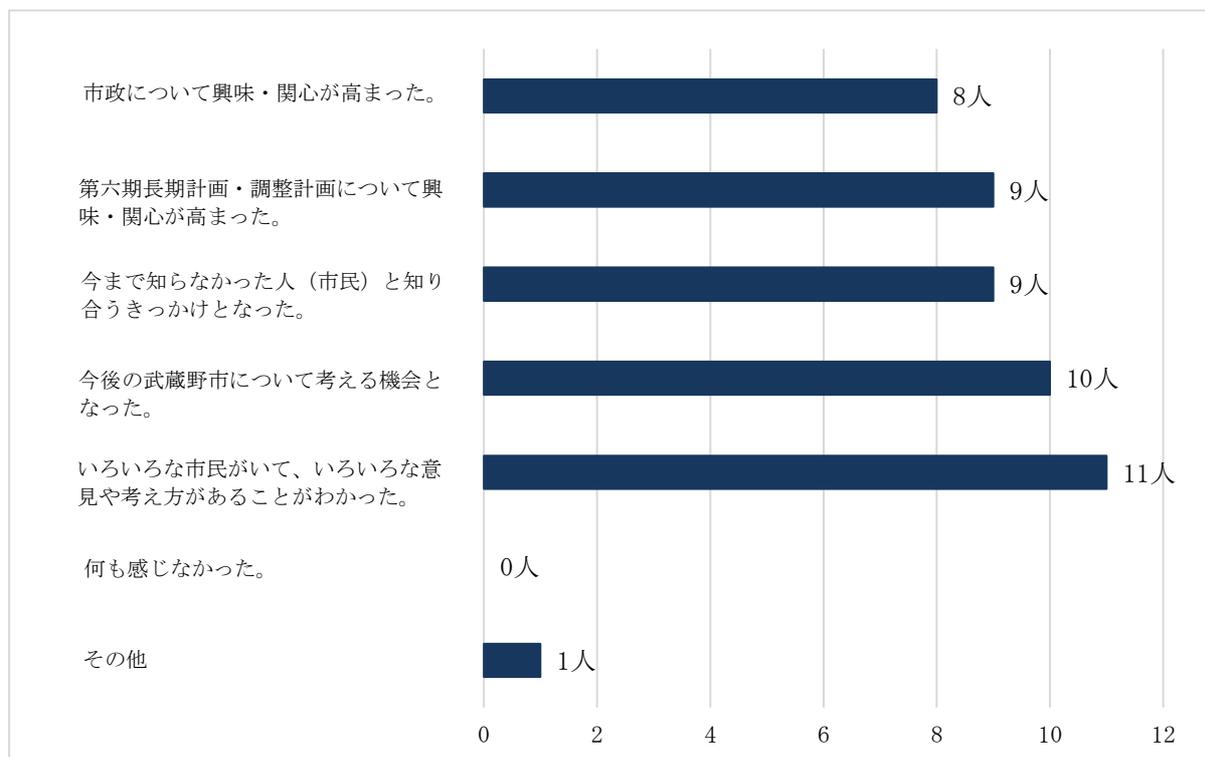
5. 今回のワークショップのご案内をご覧になる前、武蔵野市の長期計画や調整計画についてどの程度ご存知でしたか？



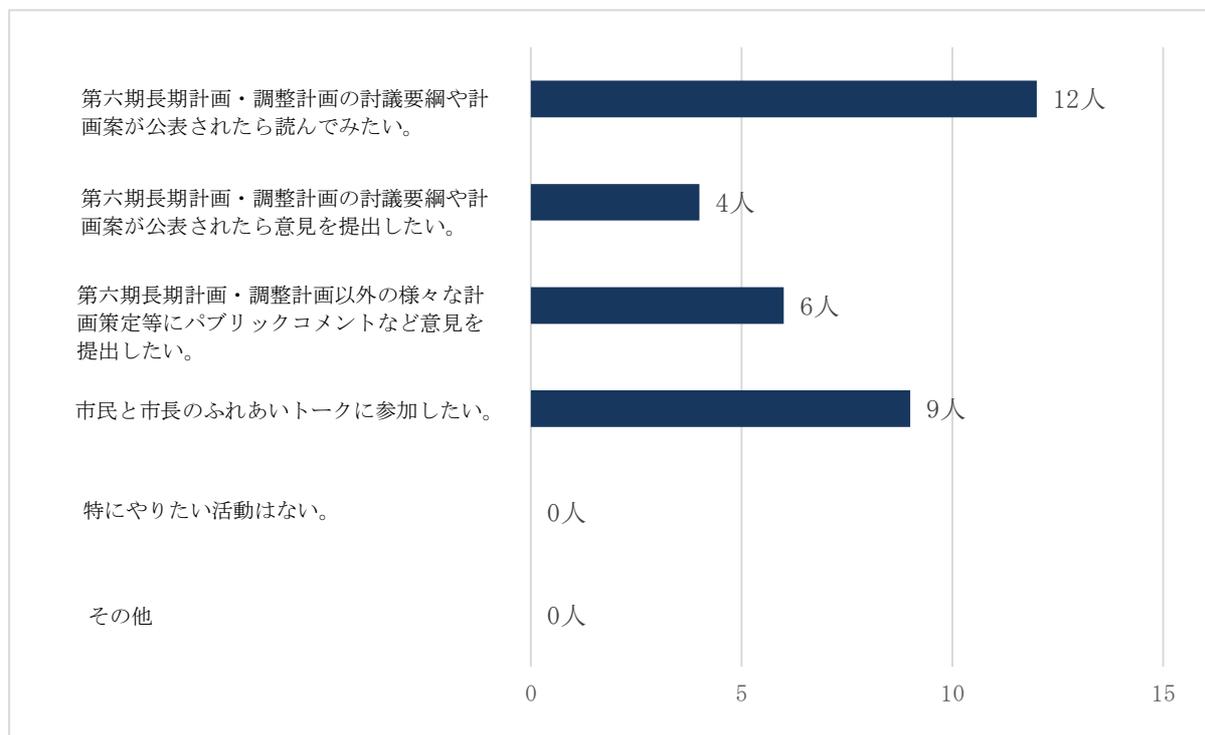
5. その他ご意見

- ・簡易版双方読了していた

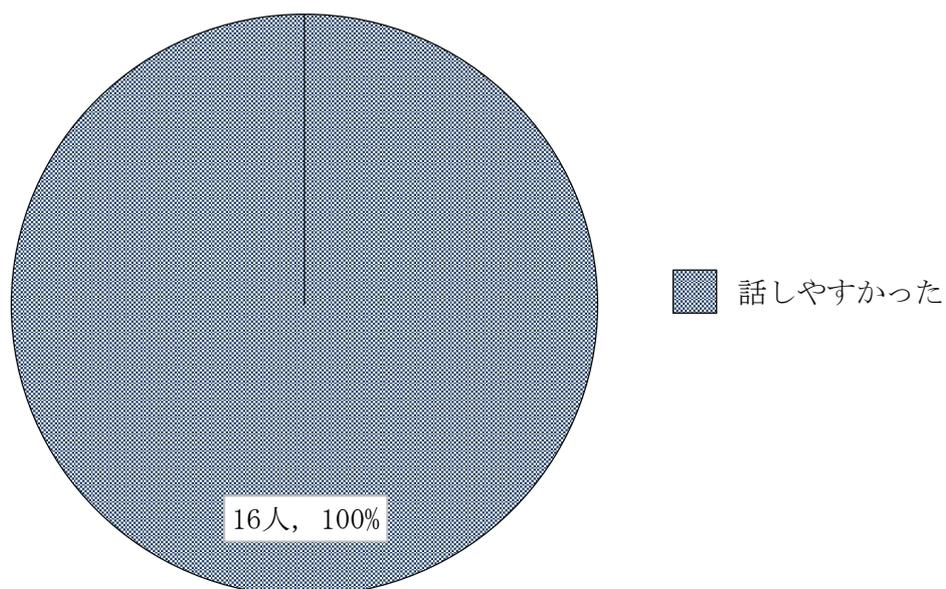
6. 今回、ワークショップに参加されて、どのようにお感じになりましたか？（複数回答）



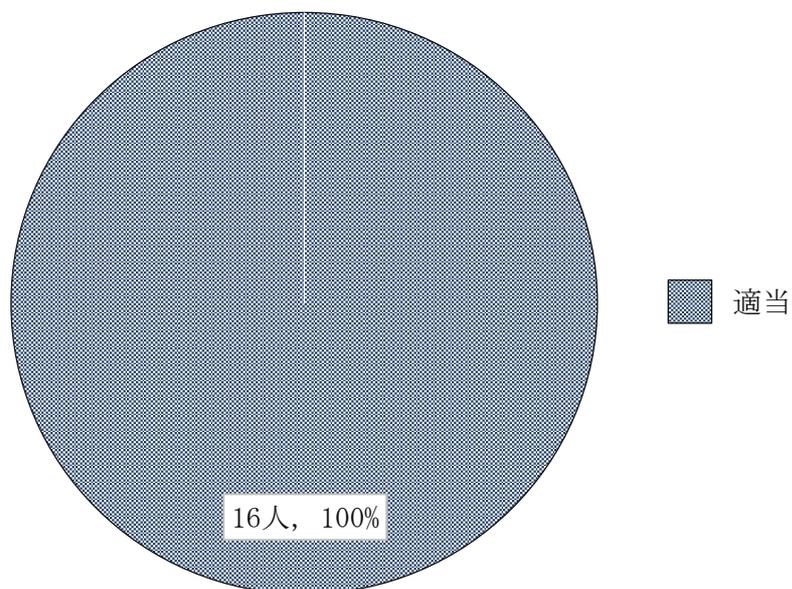
7. 今後やってみたいと思う活動はありますか？（複数回答）



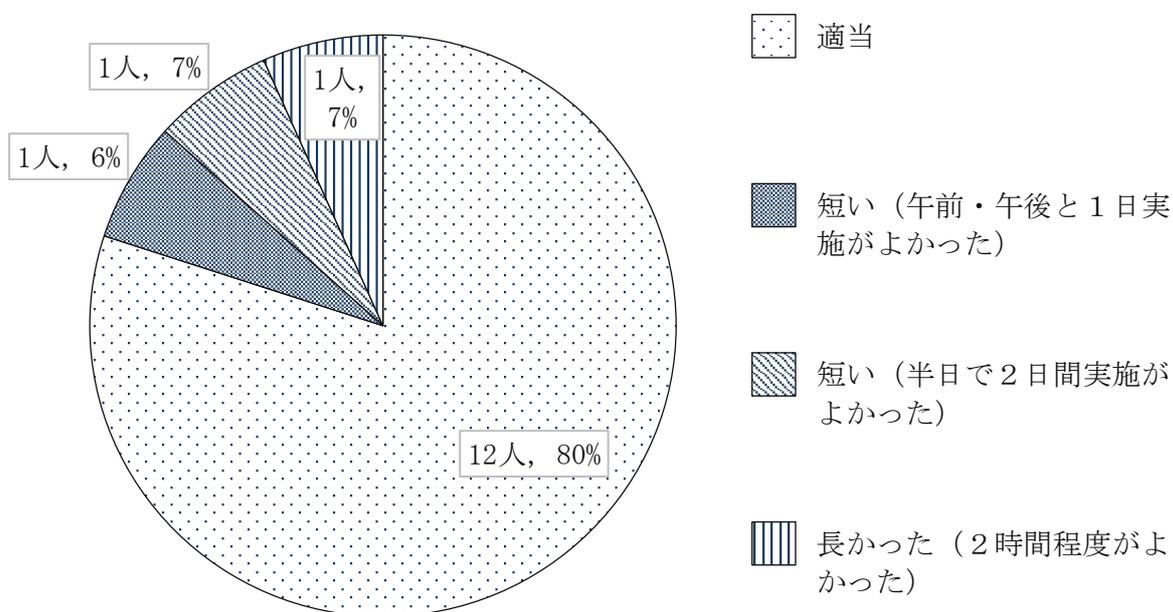
8. テーマ（「第六期長期計画策定後この2年間の生活でどんな変化があったか。それは良い変化か？悪い変化か？どちらでもない変化か？」「悪い変化を良い変化にするにはどうしたらよいか？」「良い変化をさらによくするにはどうしたらよいか？」）はどうでしたか？



9. 各グループトークの時間について



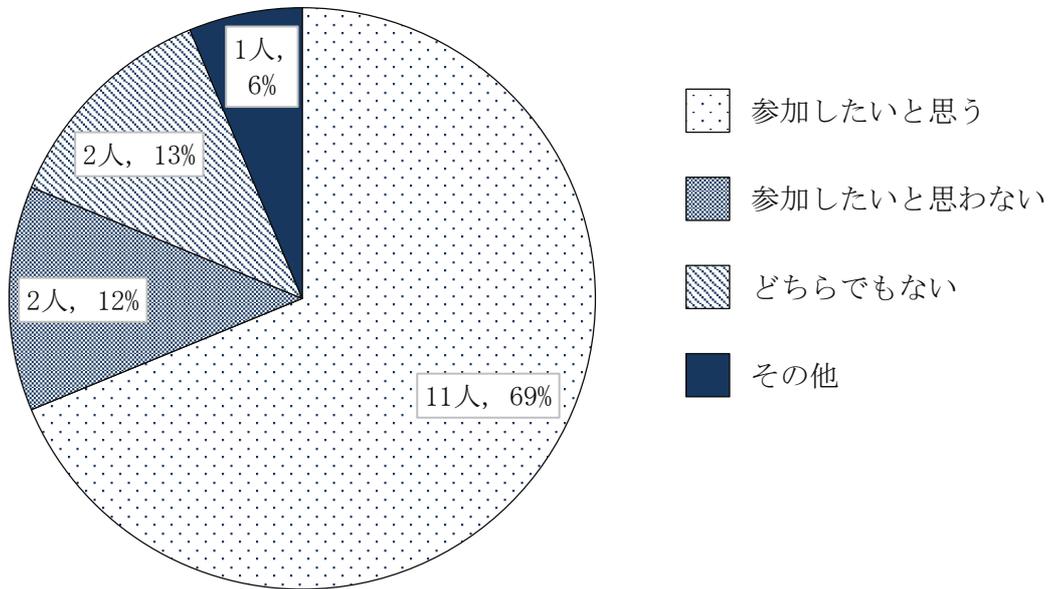
10. ワークショップ全体の時間（13時から17時）について



10. その他ご意見

- ・ 3時間程度がよかった

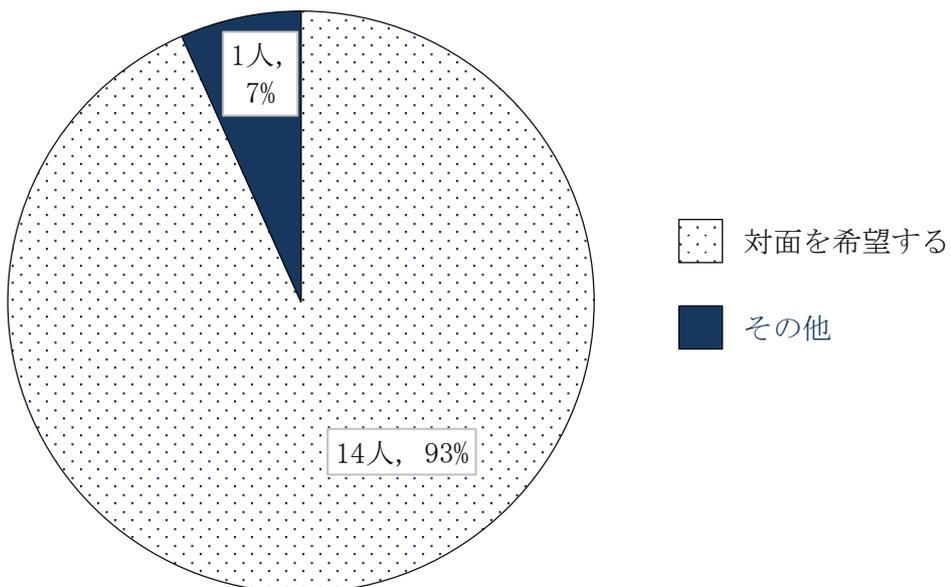
11. 今後連続型（2日間）のプログラムでオンラインワークショップを実施した場合、参加しようと思いますか



11. その他ご意見

- ・うまく日にちが合えば。でも2日は集中力が続くか…

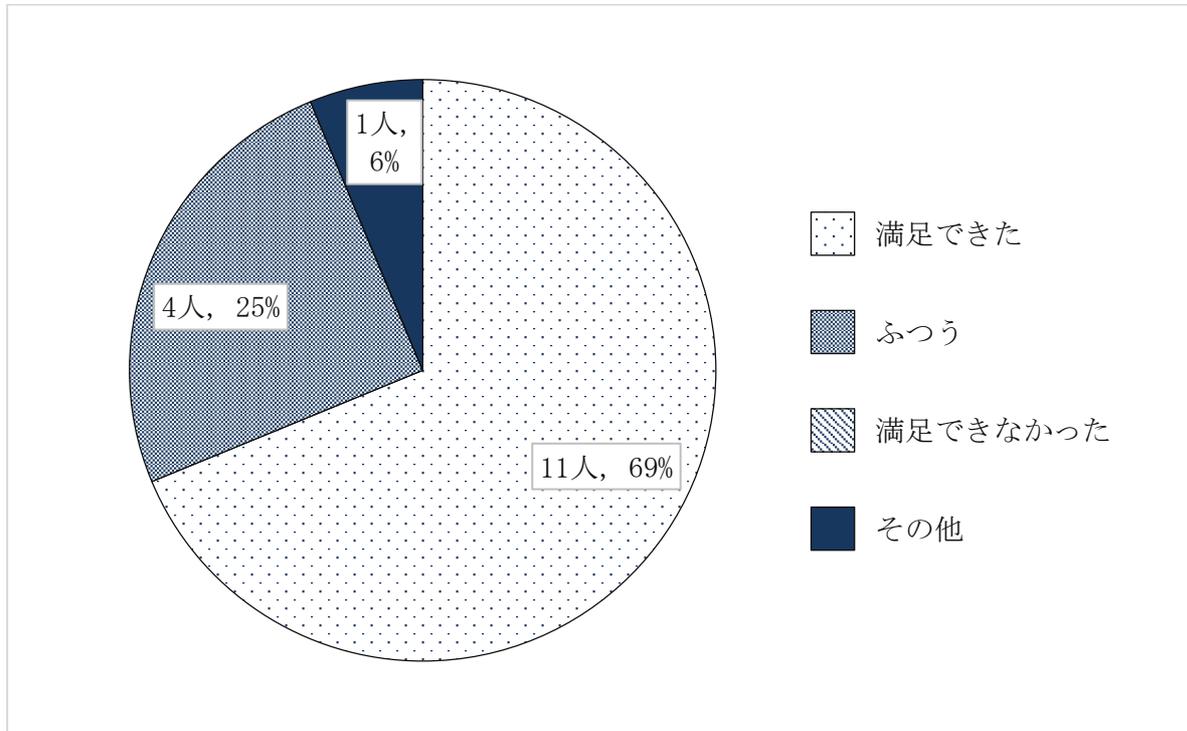
12. 次回も参加するとしたら対面のワークショップを希望しますか。



12. その他ご意見

- ・どちらでも

13. 武蔵野プレミアム詰め合わせセットはどうでしたか



13. その他ご意見

- ・税金を使ってお土産を用意する必要はないと思う

14. 市民ファシリテーターへのメッセージをお願いします

- ・4人の意見を上手くまとめてくれた。
- ・話しやすいムードをつくっていただけた。
- ・頑張ってくれてました。ご苦労様でした。
- ・すみません、MCの面白くさせようとして言葉数多すぎ。ファシリテーターはよく状況を見ていると思いがすがと思う。
- ・話しやすかったです。ありがとうございました。
- ・リーダーさんがいてくれて、スムーズに進みました。ありがとうございました！
- ・ご調整ありがとうございました。
- ・ありがとうございました。
- ・すばらしかったです。ありがとうございました！
- ・素晴らしい作品となりました。ありがとうございます。
- ・楽しい時間を一緒にできて良かったです。ありがとうございます。
- ・進行役おつかれさまでした。

- ・とても良く会話をリードして頂きました。

15. 次回ワークショップを開催するとしたら、どのようなテーマを希望しますか

- ・コミセンの活用(見直し)、公共施設のメンテナンス、高齢者対応
- ・まちづくり、子ども、多様性、社会保障
- ・市民同士の交流促進
- ・特になし
- ・子ども教育
- ・住民投票条例、あるべき案
- ・地域防災計画
- ・武蔵野市における懸案事項の解決策について

16. 今回のワークショップの感想（興味を持たれたこと、印象に残ったこと、困ったところ、わかりづらかったところなど）を自由にご記入ください

- ・市民ファシリテーターの的確な進行でとてもスムーズな話し合いができました。
- ・とても楽しかったです。年齢も立場も様々な方々が集まっており、色んな意見交換ができて良かったです。こうしたブレインストーミング的対話はとても有意義だと思います
- ・市政の動きが市民一人ひとりにまでなかなか見えていない気がする。市報や羅針盤みたいな活字媒体だけでないネットワーク、インターネットによる情報発信も力を入れてほしい。
- ・各グループごとの個性、違いがおもしろかった。
- ・多種多様な市民、多種多様な課題がある中で、市を進めていくというのは、大変ですね。だからこそよりどころとしての長期計画が必要ですね。
- ・皆さんと問題を共有できてよかったです。
- ・たくさんあります。ふせん写真にとらしていただいたのもう1回よくみます。報告集も楽しみにしています。
- ・聞いて語ってムサシノ市の未来を創ろう！
- ・50年をむかえたコミュニティ構想を再構築という考え大賛成。
- ・「ファシリテーター」の「誘導」(?)には疑問も感じる。

5 市民ファシリテーターについて

(1) 参画状況とその効果

本事業実施においては、令和4年度「武蔵野市第六期長期計画・調整計画無作為抽出市民ワークショップ」にご参加いただいた方を中心に、全6名の市民ファシリテーターの方々にご協力いただきました。当日の運営は、全体進行を1名の市民ファシリテーターが行い、グループワークについては、各グループに1名ずつ配置し、実施しました。

参加者アンケートの結果から、市民ファシリテーターの参画によって話やすい雰囲気作りや、円滑なグループワークの進行へ効果があったことが読み取れました。

また、運営者向けのアンケート結果においてはオンラインと比較した際に、表情や反応を見ながらファシリテートすることができるとの意見も多く寄せられ、ノンバーバルなコミュニケーションがファシリテートする上でも重要となっていることが見えてきました。

(2) 運営スタッフ（市民ファシリテーター、記録係）アンケート結果

1. 役割

グループファシリテーター	5名
全体ファシリテーター	1名

2. 今回の対面ワークショップに運営側として参加してよかったですか

とてもよかったです	5名
よかったです	1名
どちらとも言えない	0名
よくなかった	0名

3. 2の回答の理由を教えてください（自由解答）

- ・対面だからこそ参加者との密なコミュニケーションを取ることができたから。
- ・ZOOMによるオンライン開催と比較して対面コミュニケーションによる圧倒的な情報交換量の差があり、網羅的なコミュニケーションが出来たと思います。
- ・参加者の方がお互いの意見に耳を傾け尊重しながらグループワークを行うことができたから。
- ・毎回感じますが、初めて出会ったメンバーなのに、時間の経過とともに、グループの一体感が生まれ、市についての意見で盛り上がるという流れに「すごい！」と感じ、私も市民として、何かしらの活動を続けたいなという思いを改める機会になっています。
- ・これまでも市報などはくまなく読み、行政に興味は持っていたが、さらに一步踏み込むきっかけとなった。

- ・久しぶりの対面ワークショップでした。市民歴の浅い方、長い方、市の委員会に参加されている方などさまざまでしたが、みなさん自由かつ闊達にお話いただき、対面の良さを感じました。

4. 運営面でよかったと思うところがあれば教えてください

- ・模造紙等に、良い点・悪い点等、事前に記載されており、ファシリテーションに集中することができた点。
- ・テーブルの距離や参加人数が適切なサイズであったと思う。落ち着いて対話が出来ました。
- ・活発な意見交換。
- ・グループ間の距離があり、グループ内の話がしやすかったように思う。人数もちょうどよかったと思う。
- ・スムーズに運営できたと思う。
- ・コロナ禍を考慮し、各グループの間隔を充分に開けて1グループの人数も少なめで行われたため、参加者の方々もファシリテーターも安心してワークショップに参加できたと思います。

5. 運営面での改善点があれば教えてください。

- ・特にないが、強いてあげると、冒頭で全体ファシリと市から連続して説明があったが、通して長くなってしまい、参加者の集中力が切れていた。冒頭で参加者間で自己紹介や期待を共有する等、アイスブレイクを入れるとよりよくなると感じた。
- ・運営スタッフが多すぎると感じた参加者がいた。寄り付きメンバーも2名迄とかにした方が良いかもしれません。
- ・事前の打ち合わせや反省会など、もう少し時間があれば良いと思う。
- ・現在、何のワークをやっているかを画面で表示できればよかった。
- ・オンラインはハンディキャップがあつて対面ワークショップに参加できない市民の方などの意見が聞ける場でもあると思います。実施の際の準備は大変だと思いますが、対面のグループとオンラインのグループが同時に行われるワークショップがあつても良いと思います。

6. 今回のワークショップの企画(プログラム、テーマ設定、事前打合せなど)について、良かった点や改善点など、ご感想・ご意見をお聞かせください。

- ・良いと思う変化から更に良い変化に導いていくセッションの運営が難しかった。もう少し第六期長期計画のフレームにそって、項目別の変化をひろっていくやり方もあったかなと思います。参加者の声にも似たような意見がありました。

- ・ 1グループの人数が少ないこともあり、余裕がある中でグループワークが行えた。
- ・ オンラインで1回やっていたのもあるが、打合せが1回しかなく、前日まで少し不安だった。しかし、いつもの信頼のおけるメンバーとの企画ということもあり、当日は不安もなく進めることができた。メンバーが変わる場合は、打合せや流れの確認は丁寧に行う必要はあると感じた。
- ・ テーマ設定がやはり難しかった。この2年間の変化を出してもらおうというのは、参加者にとって気軽に話しやすくはあったが、今回出た意見がどう市政に繋がるのかが、運営側としても結局よく見えないままだった。
- ・ 内容は同じとはいえ、オンラインと対面では注意点が違うため、特に初めてファシリテートされる方がいる場合は、対面での打ち合わせは必要ではないかと感じました。

7. 今回は対面でのワークショップとなりました。5月はオンラインで開催しましたが、対面で実施して良かったと思うところがあれば教えてください。

- ・ 状況を把握しながら対話を進めていくことができるのでオンラインよりやりやすい。
- ・ お互いの表情をみながら話ができることで、話をまわしやすかった。オンラインでは発言者以外は黙るとなるので他へ振るタイミングや誰に振るかなど分かりにくい場面が多い。
- ・ 時間を共有していることや参加したことへの満足の実感度は上がった気がした。
- ・ 対面なので参加した、という方々がいたこと。また、参加者同士の会話が、オンラインでの開催時よりも活発だった。
- ・ オンラインでは話しやすい場の雰囲気づくりにファシリテーターの役割が重要となりますが、対面では、ファシリテーターの役割以上に参加者の方々の個性が化学反応を起こし、一度限りの場の雰囲気が出来て行くような感覚があります。人と人の個性が掛け合わせり、それにより、参加者の皆さんの思考や議論が進んでいく良さがあります。

8. 今回は対面でのワークショップとなりました。5月はオンラインで開催しましたがオンラインと比較して対面でやりにくかったと感じたところがあれば教えてください。

- ・ オンラインでは出来ずらいファシリテーターを通さない参加者同士の雑談などが少し多かったかもしれません。
- ・ 資料を手元に広げられない。
- ・ 久々の対面で、最初の声掛けの空気を読む感覚が鈍っていたように思う。

9. 今後、同じような機会があれば参加したいと思いますか。

参加したい	6名
どちらとも言えない	0名
参加したくない	0名

10. その他、ご意見等がございましたらご自由にお書きください

- ・前回のワークショップに続き、参加者の中には、課題解決に向けて、具体的且つ効果的な議論を出来るメンバーが何人かいたので、意見を吸い上げるだけでなく、課題解決の担い手として、参加してもらおう機会を作ることも検討できると良いと思います。特定の課題を行政が市民や民間企業等のステークホルダーとともにオープンガバナンスの考えに基づき、解決策を検討していくプロセスを設計するのも次のステップとしておもしろいと思います。
- ・ハイブリッド版。リアル会合の後に ZOOM のオンライン討議を行うのも良いと思います。
- ・今回も素敵な機会を頂戴し、ありがとうございました。
- ・ワークショップの最後に参加者より「今回皆で話した内容が、多少なりとも調整計画に活かされることを期待しています。」との発言がありました。

今までのワークショップでも、こういった発言はよく聞かれました。参加された方々は、最終的な施策にワークショップの内容が役立てたのか、より良い方向に持って行くための力になれたのか、と気にかけていらっしゃると思います。

市で行う他のワークショップやパブリックコメント募集も同様ですが、市が集めた市民の声や要望がどのような形で実際にその施策に反映されたのか分かるような「こんな形で市民の声が活かされました」という Web ページ等が施策策定時に発表されると良いと思います。できれば、パブコメへの市や施策検討委員会からの回答のような形式ではなく、見やすく分かりやすくグラフィカルなもの。

そうする事で、参加された方々は参加の意義をより感じやすくなり、また、市政参加に興味を持つ市民もより増えるのではないのでしょうか。

6 添付資料

(1) 案内チラシ



**2022年
8月6日 土**
午後1時から5時
(12時半開場)

聞いて 語って 未来をつくる

～武蔵野市対面式ワークショップ～

武蔵野市について話しませんか

令和2年4月から開始した第六期長期計画*について、コロナ禍の社会情勢の変化を踏まえ、これから求められる取組み等を一緒にお話しませんか。
*長期計画とは、市の目指すべき未来の姿を示し、それを実現するための政策をまとめた市の大切な計画です。

武蔵野プレミアムを差し上げます

ワークショップ参加者には武蔵野プレミアムの特典の合わせセットを当日お渡しします。

テーマ
「誰もが安心して暮らし続けられる
魅力と活力があふれるまち」を実現
するために、私たちができること

会場
【スイングホールレイジーサロン】
武蔵野市境2丁目14番1号



※イラストはイメージです

ワークショップの詳細

タイムスケジュール(予定)

12:30	受付開始
13:00	ワークショップスタート ・あいさつ ・本日の進め方について ・長期計画とワークショップの目的について ・グループワークの進め方について
13:40	グループワーク①
14:50	全体共有 (いくつかのグループの状況を共有します)
15:00	休憩
15:10	グループワーク②
15:45	グループワーク③
16:40	全体共有 (各グループの内容を共有します)
17:00	解散 ※お疲れ様でした!

対象 市内にお住まいの18歳*以上の方
*令和4年6月1日時点。

定員 20名程度 (別途、無作為抽出あり)
*定員を越えた場合は抽選を行う場合があります。

E-mail・郵送・FAXによるお申し込み

申込方法 ①氏名(ふりがな)、②住所、③年齢、④電話番号、⑤Eメールアドレス、⑥転居希望の有無、⑦希望職種や職種予備希望などの転居希望の有無を明記の上、下記申込先にお申込みください。

申込方法 申込フォームによるお申し込み

QRコードから申込フォームをご確認ください。
必要事項を入力の上、送信してください。

締切 7月8日(金) ※当日消印有効

その他 託児(未就学児のみ)をご希望の方はご相談ください。
当日は市民ファシリテーター*が進行等を行います。

*市民ファシリテーターは、市の事業「コミュニティ未来塾おさしの」やオンラインワークショップ構築の終了生の方にご協力をお願いしています。

申込問合せ先
武蔵野市総合政策部企画調整課
〒180-8777 武蔵野市緑町2-2-28
TEL 0422-60-1801 FAX 0422-51-5638
Email sec-kikaku@city.musashino.lg.jp

(2) 当日配布物

ア. 自己紹介シート

自己紹介

- ① お名前 or あだ名
- ② 住んでいる地区
- ③ 今回の参加動機
- ④ ↓ どれか1つ

武蔵野市の好きな場所

最近あった嬉しい出来事

好きな動物とその理由

生まれ変わったら何になりたい?

イ. 武蔵野プレミアム詰め合わせセット



(3) 投影資料

ア. 武蔵野市資料

長期計画とは？

ガイドブック P6 参照

長期計画とは、市の目指すべき将来像を示し、その将来像を実現するための政策を定める、**市の最も重要な計画**。分野の枠を超えた総合的な視点で、多様な市民参加のプロセスを経て作成されている。

武蔵野市の政策は、**原則として長期計画に基づいて実行**されている。

長期計画の基本的な考え方

ガイドブック P7 参照

1 計画に基づく市政運営	2 情報共有の原則
3 市民参加の原則	4 協働の原則

武蔵野市自治基本条例 第3条 基本原則

長期計画の策定方法

ガイドブック P7 参照

市民参加・議員参加・職員参加の「**武蔵野市方式**」

第六期長期計画について

ガイドブック P8 参照

第六期長期計画・調整計画について

調整計画は、第六期長期計画で掲げた「市の目指すべき姿」の実現や「基本目標」を達成するために、計画が始まった令和2年4月以降の社会情勢の変化等を踏まえ、**計画の中見直し**を行うもの。

本日のワークショップの目的

ここ2年間における、ご自身や周りの「**変化**」について話し合い、現在の状況や話し合いから見えるさまざまな「**気づき**」について、**調整計画策定の参考**とするため。

調整計画策定のプロセス

令和4年度		令和5年度	
令和4年5月～7月頃	令和4年8月～令和5年3月頃	令和5年4月～10月頃	令和5年11月～12月頃
市民参加による策定委員会 無作為抽出市民ワークショップ 市民会議 中核市民とのワークショップ	策定委員会設置 策定委員会での議論 調整計画公表（仮） 市民ワークショップ	策定委員会での議論 パブリックコメント 無作為抽出市民ワークショップ 策定委員会での議論 調整計画公表（仮）	策定委員会での議論 パブリックコメント 意見聴取 調整計画策定（最終）
意見聴取	議論	意見聴取・議論	意見聴取 最終調整

こちらもご参照ください。

第六期長期計画 ～概要版～

イ. 全体進行

録音について

武蔵野市市民ワークショップ

聞いて語って 未来を創る

- 開始時刻（13:00）までしばらくお待ちください。
- 机の上にある名札に呼ばれたいあだ名をご記入ください

本日は皆様のご意見を記録し、報告書としてまとめるために

録音いたします。（個人情報とは特定されません）

また、ワークショップ時の写真も

撮影させていただきます。

報告書等に写真が掲載されたら困るという場合は市の職員まで休憩中、終了後にお声がけください。
ケーブルテレビの取材も入っております

武蔵野市市民ワークショップ

聞いて語って 未来を創る

- 開始時刻（13:00）までしばらくお待ちください。
- 机の上にある名札に呼ばれたいあだ名をご記入ください

ようこそ！

- 本日は武蔵野市市民ワークショップにご参加頂きありがとうございます！
- このワークショップの司会・進行は **武蔵野市在住のファシリテーター**が行います。



聞いて語って 未来をつくる ～武蔵野市対面式ワークショップ～

本日は、令和2年4月から開始した武蔵野市第六期長期計画について、コロナ禍等の社会情勢の変化を踏まえ、これから求められる取り組みを一緒にお話しするワークショップです。

参加者特典

- 武蔵野プレミアム詰め合わせセットを机の上に置いてあります。お土産にお持ち帰りください。



本日のスケジュール

- 13:00 はじめに
- 13:10 市役所よりワークショップの概要説明
- 13:20 グループワークの説明/グループワーク
- 14:25 休憩（時間が前後する可能性があります）
- 15:10 グループワーク再開
- 15:35 休憩（時間が前後する可能性があります）
- 15:45 各グループ発表・感想共有
- 17:00 終了予定

3つのお約束

今日のワークショップを円滑に進めていくため、**3つのお約束**をご案内させていただきます。

- ①人の話は**否定せず**に耳を傾けよう（多様な人の意見を聞いてみよう）
- ②**時間**を守りましょう（時間になったらすぐに開始します）
- ③感染対策のため、会場では水分補給のみでお願いします。

ご協力をどうぞよろしくお願い致します。

聞いて語って未来を創ろう！

グループワークについて

グループワークに入ったら

- グループには皆さんがお話をしやすいように「**グループのファシリテーター**」がいます。
- ファシリテーターの司会・進行に沿って意見交換をしていきます。
- 皆さんのご意見はレコーダーで記録をしていきます。
- グループではまず自己紹介から始めます。

グループワークで話すこと

自己紹介からスタートします。以下について全員にお話しいただきます。

自己紹介	①お名前 or あだ名
	②住んでいる 地区
	③今回の 参加動機
	④↓どれか 1つ
武蔵野市の好きな 場所	最近あった 嬉しい出来事
好きな 動物 とその理由	生まれ変わったら 何になりたい？

グループワークで話すこと

- ①この2年間の生活でどんな**変化**がありましたか？

健康面、福祉、子育て、文化活動、災害、学び、スポーツ活動、環境問題への対応、まちの緑、商店街、住環境、まちづくり、公共施設利用・・・などなど

グループワークで話すこと

- ②「変化」を「**良い変化**」「**悪い変化**」「**どちらでもない変化**」に分類します。

良い変化	どちらでもない変化	悪い変化
家から会議に参加できる 自由時間が増えた		運動不足になり体重が増えた 近所のお店が閉店した

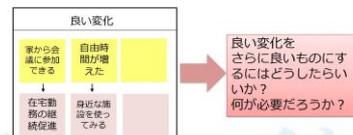
グループワークで話すこと

- ③「**悪い変化**」を良いものにするにはどうしたらいいか？について意見を出し合います。



グループワークで話すこと

- ④「**良い変化**」をより良いものにするにはどうしたらいいか？について意見を出し合います。



今日のポイント

皆さんのこの2年間の**生活の変化**を
たくさん話していただくことです。



休憩タイム



自分自身、家族、地域のこと、色々な
お話を聞かせてください。
お話できる範囲で構いません。



水分をぜひ
補給してください♪



(4) アンケート

ア. 参加者向け

～聞いて語って未来をつくる～武蔵野市民ワークショップ参加者アンケート

本日はご参加いただき誠にありがとうございました。今後の事業の参考とするため、ぜひアンケートにご協力ください。(該当する番号を○で囲んでください。)

1 ご自身について回答をお願いします。

(1) 性別 ①男性 ②女性 ③その他

(2) 年齢 ①10代 ②20代 ③30代 ④40代 ⑤50代 ⑥60代 ⑦70代 ⑧80代以上

(3) ご住所 ①吉祥寺東町 ②吉祥寺南町 ③御殿山 ④吉祥寺本町 ⑤吉祥寺北町 ⑥中町
⑦西久保 ⑧緑町 ⑨八幡町 ⑩曙前 ⑪境 ⑫境南町 ⑬桜堤

(4) ご職業 ①会社員 ②公務員 ③自営業 ④パート・アルバイト
⑤専業主婦・主夫 ⑥学生 ⑦無職 ⑧その他()

(5) 武蔵野市での居住年数 ①1年未満 ②1年以上5年未満 ③5年以上10年未満 ④10年以上

(6) 参加方法 ①無作為抽出 ②公募 ③わからない

※(6)参加方法で「②公募」を選択された方は、何を見てこのワークショップを知りましたか?

[]

2 今回、参加をお決めいただいた理由は何ですか？(いくつでも)

- ① 市政に興味があったから。
- ② 長期計画・調整計画やその策定過程に興味があったから。
- ③ 市民として何か活動してみたいと思っていたから。
- ④ 武蔵野プレミアムがよかった(魅力的だった)から。
- ⑤ 日ごろ感じていることについて他の市民と話してみたかった、意見を聞いてみたかったから。
- ⑥ 今までワークショップに参加したことがあり、良い経験ができた、役に立ったから。
- ⑦ たまたま日程が合ったから。
- ⑧ その他()

3 参加された感想をお聞かせください。

- ① おもしろかった。楽しかった。
- ② おもしろくなかった。つまらなかった。
- ③ どちらでもない。
- ④ その他()

4 これまで市の計画策定や施策決定の場面に参加されたことはありますか？(いくつでも)

- ① 計画策定等の委員として参加
- ② 計画策定等の委員会の傍聴
- ③ 個人としての意見提出(パブリックコメント等)
- ④ 団体(NPO・コミュニティ協議会など)として意見提出
- ⑤ 市民と市長のふれあいトークに出席
- ⑥ 市民(住民)説明会や意見交換会に出席
- ⑦ 参加したことがない
- ⑧ その他()

5 今回のワークショップのご案内をご覧になる前、武蔵野市の長期計画や調整計画についての程度ご存知でしたか？

- ① 全く知らなかった。
- ② 名前だけは聞いたことがある。見たことがある。
- ③ 読んだことがある。
- ④ その他()

裏面に続く

- 6 今回のワークショップに参加されて、どのように感じになりましたか？（いくつでも）
- ① 市政について興味・関心が高まった。
 - ② 第六期長期計画・調整計画について興味・関心が高まった。
 - ③ 今まで知らなかった人（市民）と知り合うきっかけとなった。
 - ④ 今後の武蔵野市について考える機会となった。
 - ⑤ いろいろな市民がいて、いろいろな意見や考え方があったことがわかった。
 - ⑥ 何も感じなかった。
 - ⑦ その他（ ）

（くつでも）
案が公表されたら読んでみたい。
案が公表されたら意見を提出したい。

- ⑧ 第六期長期計画・調整計画以外の様々な計画策定等にパブリックコメントなど意見を提出したい。
- ④ 市民と市長のふれあいトークに参加したい。
- ⑤ 特にやりたい活動はない。
- ⑥ その他（ ）

- 8 テーマ「第六期長期計画策定後この2年間の生活でどんな変化があったか。それはよい変化か？悪い変化か？どちらでもない変化か？」「悪い変化をよい変化にするにはどうしたらよいか？」「よい変化をさらによくするにはどうしたらよいか？」はどうでしたか？

- ① 話しやすかった。
- ② 話しにくかった。
- ③ どちらでもない。
- ④ その他（ ）

- 9 各グループトークの時間について。（1つだけ○をつけて下さい）
- ① 適当 ② 長い ③ 短い ④ その他（ ）

- 10 ワークショップ全体の時間（13時から17時）について。
- ① 適当 ② 短い（午前・午後と1日実施がよかった）
 - ③ 短い（半日で2日随実施がよかった） ④ 長かった（2時間程度がよかった）
 - ⑤ 長かった（2時間程度で2日随実施がよかった） ⑥ その他（ ）

- 11 今後連続型（2日間）のプログラムで対面ワークショップを実施した場合、参加しようと思えますか。
- ① 参加したいと思う。
 - ② 参加したいと思わない。
 - ③ どちらでもない。 ④ その他（ ）

- 12 次回も参加するとしたら対面のワークショップを希望しますか。
- ① 対面を希望する。 ② オンラインを希望する。
 - ③ その他（ ）

- 13 武蔵野プレミアム詰め合わせセットはどうでしたか。
- ① 満足できた。 ② ふつう。 ③ 満足できなかった。
 - ④ その他（ ）

- 14 市民ファシリテーターへのメッセージをお願いします。
- []

- 15 次回ワークショップを開催するとしたら、どのようなテーマを希望しますか。
- []

- 16 今回のワークショップの感想（興味を持たれたこと、印象に残ったこと、困ったところ、わかりづらかったところなど）を自由に記入ください。
- []

ご協力ありがとうございました。
そのまま机上に置いてお帰りください。



イ. 運営メンバー向け

運営メンバー向けアンケート（8/6実施）

ご協力本当にありがとうございました！今後のワークショップの参考にさせていただきますので、アンケートへの回答をお願いします。*がついているものは必須回答項目となります。締め切り8/15(月)

*必須

1. 役割*

- 全体ファシリテーター
 グループファシリテーター

2. 今回の対面ワークショップに運営側として参加してよかったですか*

- とてもよかった
 よかった
 どちらとも言えない
 よくなかった

3. 2の回答の理由を教えてください（自由解答）*

回答を入力

4. 運営面でよかったと思うところがあれば教えてください

回答を入力

5. 運営面での改善点があれば教えてください。

回答を入力

6. 今回のワークショップの企画（プログラム、テーマ設定、事前打合せなど）について、良かった点や改善点など、ご感想・ご意見をお聞かせください。

回答を入力

7. 今回は対面でのワークショップとなりました。5月はオンラインで開催しましたが、対面で実施して良かったと思うところがあれば教えてください。

回答を入力

8. 今回は対面でのワークショップとなりました。5月はオンラインで開催しましたがオンラインと比較して対面でやりやすかったと感じたところがあれば教えてください。

回答を入力

9. 今後、同じような機会があれば参加したいと思いませんか。*

- 参加したい
 どちらとも言えない
 参加したくない

10. その他、ご意見等がございましたらご自由にお書きください

回答を入力

送信

フォームをクリア

第六期長期計画・調整計画
無作為抽出と公募による市民ワークショップ
(令和4年8月6日開催)

令和4年10月発行

発行 武蔵野市総合政策部企画調整課
〒180-8777 東京都武蔵野市緑町2-2-28
電話 0422-60-1801 (直通)